新京日日新聞
夕刊
十一月十日
本紙定價（一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月拾五錢）
廣告料金（普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢）
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話（編輯局專用 (3)三二〇五）（營業局專用 (3)三二〇〇）
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

廣東人の廣東を叫び 陳濟棠獨立說傳はる
余漢謀も協力することは必然

【南京九日發國通】確かなる筋への情報によれば廣東派の巨頭陳濟棠は蔣介石の廣東政策に反感を抱き「廣東人の廣東」を叫んで自ら首班となつて廣東新政權樹立の意向ありと傳へられてゐる、陳濟棠はさきに胡漢民監禁事件と同時に南支一帶に反蔣機運濫醸するや李宗仁、白崇禧と通じ蔣彈劾に呼應し汪兆銘、孫科等の廣東政府樹立に有力なる背景となつたことは普く知られる處であるが、その後廣東、南京兩政府妥協後廣東の全權を握るや再び廣東の獨立を策し破れて外遊最近は香港に待機中であつたが、その藏する巨額の財產は蔣介石から目を着けられ、事變中は二回に亙つて國府に獻金を强いられたことがあつた、而も國府の壓迫恐怖のため何れへか姿を消したまゝその消息を絕つてゐたが、今回突如「廣東人の廣東」を叫んで起つとすればその大きな勢力と經歷よりして各方面から多大の興味と關心を以て見られ、陳が再起すれば從來からの關係上余漢謀が協力することは必然と見られてゐる【寫眞は上陳、下余】

王外交部長香港に潜入

【南京九日發國通】信ずべき筋への情報によれば、國民政府外交部長王寵惠は先頃來密かに香港に到着、各方面の要人外交團と何事かを畫策中であるといはれてゐるが、側近者の語るところによれば、王は鼻の疾患のため香港で治療を受けてゐるとの事であるが王は斷末魔にあえぐ蔣政權を見限り政局の新展開を策し、ドイツ、イタリー等の外交團と屢々會見してゐるところを以てしてもその企圖するところが反蔣政治工作にあること明かであらう、一方香港における杜月笙、錢新之等の金融關係者も日本側のあくまで戰意固き實狀をみて國民政府要人連の下野を要望したとの情報もあり、國民政府内における外交、財政方面の動向を推知せしむるものとして注目されてゐる

成都の大爆撃で
國府要人今や安住の地なし

【上海九日發國通】奧地猛進の支那軍を急追して八日わが海軍航空隊の加へた奧地猛襲の痛擊はその

規模

の壯大さと攻擊の痛烈さにおいて近來にない壯烈無比の爆擊行であつた、此日晚秋の快晴にめぐまれた海の荒鷲精鋭は四隊に別れ鵬翼を連ねて長驅し成都、重慶、芷江、衡陽の奧地飛行場に殺到、徹底的打擊を與へて歸還したが、なかでも安延少佐、菅久少佐の率ゐる二隊は四川省の省城成都を急襲、同地方の不良なる天候と地上砲火を冒して地上爆破十機、擊墜三機の成果を收めて敗戰の敵軍にわが海の荒鷲の前には全土至るところ安住の地もなきことを如實に示したのであつた、一方山ノ上少佐の一隊は突如湖南省西部の小部落芷江飛行場を奇襲し地上機四機を一瞬にして爆破挑戰し來つた新型カーチス・ホークE十六型等の十六機よりなる戰鬪機群と壯烈なる空中戰を展開、數機を擊墜、われもまた貴重な二機を失つたが、芷江飛行場は敵空軍が南昌放棄以來密かに建設しつゝあつた虎の子の新根據地であつた、また他の一隊も重慶を猛襲、敵機二機を爆破、重慶逼入の國府要人の心膽を寒からしめたが、この日のわが海の荒鷲の

活躍

はこれ正に阿修羅の如き猛烈さ

八方塞りの蔣政權
赤色ルートの確保に狂奔

【包頭十日發國通】武漢、廣東の失陷により抗日支那の戰力は著しく減殺され、軍需品輸送は新疆、蘭州ルートによるソ聯の

援助

と海防、昆明を繫ぐ佛國の援助をあますのみとなつたが、西南ルートは我外務省當局の對佛申入れによつて薄弱となりたゞめ最後の望みを西北ルートにかけ、支那軍首腦部は同ルート最大の重點たる蘭州保持に汲々たる有樣である、同地は東は西安へ、西は西藏、北は寧夏を經て庫倫へ、南は四川へ通ずる大陸交通の最要衝であるが、現在の蘭州の有つ軍事的重要性は

一、ソ支連絡の大幹線をなす新疆、蘭州ルートの重點たること

二、第二次ソ支連絡たる庫倫、蘭州ルートの終點たること

三、蘭州より今後の抗日策源地たる成都、重慶を繫ぐルートの起點たること

等によつて明かなるやうに抗日支那とソ聯を連ねる唯一無二の連絡地たるにより所謂西北赤色ルートの現狀は蘭州、新伊寧を繫ぐ航空路、蘭州の自動車道路及び蘭州、庫倫の公路の三つであるが、蘭州、庫倫ルートは我軍の綏遠地域進出後東側よりの至大な脅威を受けて駱駝による僅少の運送に止まり、新疆ルートは最大の幹線として蘭州に達するトラックが連日陸續として蘭州に達しつゝあり、同ルートが黃土層であるため降雨等による崩壞を懼れて最近ではその鋪裝も著しく進展、鐵道も旣に路盤工事を終へたと傳へられる、更にこのルート保持のための敵軍配置は

一、東北防禦線　河曲、楡林寧夏を連ねる外長城線を以て構成、河曲には傅作義軍、楡林には馬占山、高双成軍、寧夏には馬鴻逵、馬鴻賓等の回敎軍及び前線五原、臨河には麾下の諸軍をもつて守備に當らしめ、回敎軍中には中央軍の將兵を入れ、その改編工作に努めてゐる

二、東部防禦線　黃河河谷をもつて構成、過般の五臺攻略により遊擊據點を失つた第八路軍が晉化ソヴイエトの首府たる膚施を中心に主力を配置し傅作義、馬占山軍等諸軍に對し旺盛なる赤化工作を行つてゐる

三、東南防禦線　洛陽、潼關の第一線はわが南山西への進出と武漢作戰における京漢線の遮斷等により西安に後退し從來河南、山西にあつた中央軍及び舊東北軍を西安附近に集結して防禦線を構成してゐる

斯くて戰局の焦點は武漢を離れ世界の視聽は蘭州を中心とする西北支那に集まりつゝあり、支那軍内に著しく

被害

を加へて來た赤色勢力と共に世界的の觀點を集めるに至つた

維新政府より
滿洲國に答禮使派遣

【南京十日發國通】さきに滿洲國より維新政府に派遣した特使に對し維新政府よりも答禮のため滿洲國に特使を派遣することゝなり外交部參事劉家倫及び外交部秘書洪嶽兩氏が政府代表として十日出發することに決定した、なほ財政部長陳　氏は聯合委員會委員として十四、五日頃北京に赴くことゝなつたが、これは第三次聯合委員會を控へ各種事務聯絡のためと云はれてゐる

重慶市對岸へ
避難民續出

【上海十日發國通】重慶來電によればわが空軍の相次ぐ來襲に同市は全く恐怖に包まれ家財道具をとり纏めて汽船で對岸の丘陵地區へ避難する者が續出してゐる、なほ九日同市の漢字紙は六十萬市民に避難を勸告すると共に當局に對して重慶城外は匪賊が多數出沒し市民が安心して避難出來ぬと即刻匪賊掃蕩方を要望してゐる

英揚子江艦隊司令官
畑指揮官に祝辭

【漢口十日發國通】英國揚子江艦隊司令官ホルト少將は九日午後畑中支軍最高指揮官を訪問し武漢攻略の祝辭を述べ挨拶を行つた

共產軍廿二師
鄭州に集結
戰意全く喪失

【北京九日發國通】信陽附近で捕へた敵捕虜の言によれば武漢戰線で破れた共產軍廿二師は鄭州附近集結の命を受け先月末頃から移動を開始し信陽西方を通過鄭州に向ひつゝあり、この軍隊は中央の指揮に從つてはゐるが、給料は旣に九、十兩月に亙り不拂ひで未だに夏服を着用してゐる有樣で戰意全くなく、兵士は爾後はどんな命令が下つても戰鬪參加は出來んと公然斷言してゐる、又山東第五十五師も鄭州戰線で破れ南陽附近に集結して北上を開始したが、日本軍に到底敵ふべくもなきを知り士氣全く沮喪して抗戰など思ひもよらぬ狀態を呈してゐる

防共陣營更に强化
ワ獨公使着任
新京驛は日滿獨の交驩場

代理公使ヨーゼル・クノール博士の後を受けて防共の盟邦滿洲に初代ドイツ公使として着任したウイルヘルム・ワグネル博士の晴れの國都入りの日十日午前十一時四十二分新京驛着のぞみが約三十分延着との報に出迎への人々の群が待遠しさうな談笑にざわめいてゐるクノール博士を始め在京獨人達が出番ふ度にナチス式敬禮でホームがドイツ一色に彩られた樣だ、午後零時十五分待望の列車が姿を見せてするく〳〵とホームに辷り込むとざわめきが更に增してどつと一等車入口に殺到する、やがてワグネル博士がゆつたりと巨軀をデッキに見せて下車してクノール博士と先づ固い握手を交して後出迎への日滿要人に次々に挨拶を交す、星野總務長官、蔡外務局長官、大橋參議、代谷駐滿海軍部參謀長、于首警察監等何れも滿面に笑みを湛へて固い握手を交して後稻川驛長の先導で乘降に急しい旅客や送迎客がドイツ公使だとお互に私語を交すホームを步を運び氣輕に貴賓室へ寄らずそのまゝ通路から驛頭へ出てしまつて寒い中をまた挨拶を一々交し車上の人となり珍しさうに瞳を窓外へ馳せながらヤマトホテルへと入つた

英帝、羅國王佛大統領を御招請

【ロンドン八日發國通】英國皇帝ジョージ六世はルーズヴエルト大統領の招請に應じ明年夏カナダに、ついで米國を訪問されることゝなつたが、これに先立ち英國皇室では近くルーマニア國王カロル二世ならびにルブラン佛大統領を英國に招請されることとなりその旨八日下院における英帝の勅語ならびにチエムバレン首相の演說中に發表された

岳州城近郊に藤岡部隊肉薄
超人的快速振りを示す

【岳陽十日發國通】青白き月光を浴びつゝ岳州に殺到するわが藤岡部隊は浮足立つた敗敵に追ひすがつて猛進また猛進、九日深更つひに岳州城近郊に肉薄した

【雲溪九日發國通】九日乾鞨大嶺の峻峰を征服して意氣天を衝くの慨ある藤岡部隊は正午路口舖ならびに同停車場を占領、憩ふ間もなく蓮華堂、茶港、韓坪舖を拔き雲溪の頑强な陣地に正面衝突しその超人的快速ぶりにあはてふためく敵陣地を蹂躪これを一氣に突破、松陽湖、黃泥湖の絕景を過ぎて遙かに長江の流れを望みつゝ岳州目がけて殺到しつゝあり

方北村、南村及び石龍塘附近より挾擊潰滅的打擊を與へて八日午前十一時石龍關を完全に占領、敵は算を亂して西方地區に潰走した、右各地における戰果左の如し

一、各隊における敵の死傷千五百を下らず遺棄死體のみでも五百餘を算した

北村にてはチエコ機銃四百重機四十、彈藥無數を鹵獲

南村では衞生器材、糧秣等未だに數へ切れぬ程多數を鹵獲

一、石龍關方面にてはガソリン千五百罐を鹵獲

石龍關を完全占領
敵の死傷千五百以上

【廣東九日發國通】廣東北方約十二キロの流溪水流域大同墟、江村を結ぶ線並にその附近一帶の堅固な陣地に據る第四路軍砲兵及び百五十二、百五十三兩師の敗殘兵約一千を殲滅するため〇〇部隊主力は去る六日夜行動を起し廣東北

通城南方
二里に進出

【通城にて十日發國通】通城を占領したわが軍は更に敗敵急追の手をゆるめず長谷川部隊は十日午前九時通城南方二里の地點に達した

浮流機雷
爆破に成功

【軍艦〇〇にて十日發國通】わが海軍遡江部隊が七日正午戰國時代の古戰場石頭關下流附近を掃海中濁流の中をたゞよひ來る多數の浮流機雷を發見した、底知れぬ支那軍の暴擧に憤激決死の掃海隊は寸時の躊躇もなく挺身浮流機雷に肉薄するや今垣〇〇艦長創案に基く獨特の方法によつて約三時間に亙り揚子江の水の惡魔と死鬪し無慮〇〇個の浮流機雷を高速爆發せしめるに成功した壽然碧空にこだまする爆音と共に水柱高く奔騰する樣は壯烈極まるものであつた

人事往來

着京

▲錢高久吉氏（會社員）九日來京ヤマトホテル
▲長井亞歷山氏（日本内燃）同
▲又本周夫氏（官吏）同
▲竹園四郎氏（鑛業會社）國都ホテル
▲伊藤鏡氏（商業）同
▲西居四郎氏（富士電氣）同
▲竹下隆雄氏（滿洲電線）同
▲小野安勝氏（請負業）同
▲阿部次男氏（官吏）同
▲小宮能男氏（會社員）同
▲赤塚貫壽氏（大同耐業）同
▲河野定男氏（會社員）同
▲佐久間昇司氏（技師）同
▲川本紳夫氏（會社員）同
▲佐山敏行氏（同）ニューアジアホテル
▲山口憲之氏（同）同
▲萩原久造氏（同）同
▲高倉友之助氏（滿拓）同
▲島崎和彥氏（會社員）同
▲中岡復造氏（同）同
▲加藤儀三郎氏（商業）大都ホテル
▲永野萬吉氏（同）同
▲橋詰清志氏（會社員）同
▲島田正義氏（同）同
▲谷口宏氏（同）同
▲佐谷義雄氏（醫師）同
▲樋口健太郎氏（會社員）同
▲島津四郎氏（商業）同
▲立本謙二氏（同）同
▲中山久雄氏（會社員）同
▲草間茂登氏（官吏）同
▲野原三次氏（航空工廠）同
▲戶田克實氏（同）同
▲阿部敬夫氏（官吏）滿蒙ホテル
▲御園生忠男氏（官吏）同
▲淺原源七氏（滿業理事）同
▲佐方文次郎氏（滿拓）同
▲荒蒔義勝氏（會社員）同
▲春井養氏（國際運輸）同
▲小田榮治郎氏（建築材料商）ミクニホテル
▲成田高之助氏（商業）同
▲宅田三郎氏（會社員）同
▲木村正健氏（官吏）同
▲野々部晃氏（同）同
▲黑田吉夫氏（同）同
▲堀三之助氏（土建協會顧問）同
▲阿部祉治氏（商業）帝都ホテル
▲柏木長太郎氏（會社員）同
▲鈴木五郎氏（官吏）同

出發

▲織本道三郎氏　九日奉天へ
▲井野次郎氏　同
▲中西淸太郎氏　東京へ
▲井上内藏之助氏　同
▲臺場順治氏　北京へ
▲加藤武濟氏　大連へ
▲名越太七氏　哈市へ
▲佐藤憲三郎氏　奉天へ
▲每木一八氏　同
▲富山保氏　大連へ
▲今松之助氏　同
▲石黑庄松氏　敦化へ
▲小林茂氏　同
▲河合義太郎氏　大連へ
▲伊藤折藏氏　哈市へ
▲渡邊博氏　同
▲丸山勉氏　大阪へ
▲石原光雄氏　哈市へ
▲近藤勇氏　奉天へ
▲杉山佐一氏　京城へ
▲谷本明次氏　四平街へ
▲中山春雄氏　奉天へ
▲鋼田又司氏　錦州へ
▲佐藤富作氏　哈市へ
▲生方四郎氏　奉天へ
▲田原碩秉氏　同
▲佐伯政之助氏　同
▲奧平廣敏氏　哈市へ
▲淸水豐太郎氏　奉天へ
▲野中秀次氏　同
▲西田初太郎氏　哈市へ
▲原田耕作氏　同
▲久德與二郎氏　奉天へ
▲宮本正作氏　京城へ
▲鈴木正雄氏　哈市へ
▲神藤軍造氏　奉天へ
▲田島正雄氏　同
▲坂口幸雄氏　大連へ
▲由比忠之進氏　奉天へ
▲齋藤偏一氏　同
▲毛利富一氏　同

その日く

□海の荒鷲敵機を屠ること千四百十五、一口に簡單にはいふが……

□陳濟棠、廣東人の廣東を策して起つの報、王外交部長また獨伊に近寄る

□成都を襲はれ安住の地なき國府要人にこれまた檻の齒をひく弔報

□日、滿、獨、伊防共協定成立早くも二年を祝して來る廿五日排共の狼火あぐ

□濃度計によつて不良の煖房は改善せしめる由、官警の煙突は心配あるまいて

新民會籃球隊 元氣で國都入り

あす敷島高女で全滿と試合

中華民國臨時政府新民會派遣親善籃球隊一行十四名は十日午前六時十分新京着、李團長安田指導員に引率されて旭ホテルに小憩の後神社、忠靈塔關東軍、國務院、民生部、協和會を訪問したのち十一時四十分市公署を訪れ市長に新民會副會長よりのメッセーヂを手交した、尚同チームは十一日午後四時、十二日午後二時より敷島高女で新京軍と試合を行ふこととなつてゐる

メッセーヂ

今般吾が中華民國新民會が派遣する籃球團が貴國を訪問するに當りこれに托して本書を貴下に呈せんとす、昨年七月中日兩國間に紛爭を惹起せるはまことに遺憾の極みなり、然れどもこの紛爭は中華民國全民衆の意に非ず、共產主義に踊らされたる國民黨の所爲にして一般民衆はかゝる紛爭を極めて嫌惡し國民黨政權の速かに崩壞し中日提携共に東洋平和の道に邁進せんことを希念しつゝあり、これをもつて事變發生後僅か半歲にして中華民國臨時政府の設立をみついで中華民國政府聯合委員會設立し、着々その實績をみつゝあるは嚴然たる事實にして中華四億民は五千年來固有の文化に覺醒するが如き時期に到るといふべし、事變發生以來東亞の盟主日本が吾が中國に對し絕大な犧牲を拂ひつゝあるは誠に感謝措くあたはざるところなり、思ふに清朝以後日支提携叫ばれることそも〳〵幾度ぞ、しかも今回の提携こそ眞に東洋平和確立の基礎たるべきと信ず、提携の道もとより多岐に亘ると雖も兩國青年の精神的聯繫こそその大肝要事なり、今回臨時政府と表裏一體たる新民會が派遣せるスポーツ親善使節團は競技に於ては勿論勝敗を爭ふといへどもその目的とするところは貴國青年諸氏と交驩し各種の文化に接しもつて新中國建設に寄與せんとするなり、國家の興亡はかゝつて國民體位の如何にありとは現在の世界を風靡するところの原理なり、かゝる機會にこの使節團を派遣する新民會は貴國諸賢の懇篤なる御指導と忌憚なき御批判を切望してやまざるものなり、以上些か意思を披瀝しもつて交驩の辭に代ふ

中華民國二十七年十月十四日
新民會副會長 張燕卿

≡日滿獨伊防共なりて二年≡

十一月二十五日 三度排共の狼火

全滿一齊に新段階へ

日支事變も新段階に入り極東の和平工作は着々と進展しつゝあるとき、滿洲國は既に歐洲の列强に承認せられ隆々たる國礎は日に高く十一月二十五日には日滿獨伊防共協定二周年記念日を迎へるが、協和會中央本部ではこの日を期して國都始め全滿各主要都市に於て一齊に三度び盛大な排共の狼火を擧げることゝなつた排共行事は全市民を擧げての排共大會始め、講演會等に依り排共の協同目的に結ばれた日滿獨伊親善强化を圖ることとなつてゐるが、細目行事については目下中央、首都兩本部で協議中であるが決定次第全滿に指令することゝなつてゐる

天啓煙草會社 赤十字社へ寄附

十月一日創立を見た滿洲國赤十字社では支部辦事處の設置を始めとして其の後着々諸般の準備を進めて滿洲國に適應した贊助員の規定を設定することになり、近く協和會と協力してこれが募集を開始する事になつてゐるが奉天の天啓煙草株式會社ではこれに先立ち八日國幣一萬圓を、また滿洲里六道街四十七號、白系露人ワシリイ・セメノビッチ・ウラジミロフ氏は舊露帝國五留金貨十枚(價格約百圓)夫々事業資金として寄附して來た

大同劇團歸る

五族協和の旗幟を掲げ去る十月廿一日戰時下の日本に赴き廿日間に亘つて東京、横濱、名古屋、大阪と四大都市の公演を好評裡に打上げた大同劇團藤川事務長以下四十五名は充分所期の目的を達し九日午後九時卅五分新京着ひかりで元氣一杯に歸京した、驛頭藤川氏は左の如く語つた

東京では新築地、新協劇團と新劇が復活して其間に乘込んでの私共の公演はどうかと思ひましたが東劇は連日盛況で文壇、劇團その他種々の方面の人々が觀に來て呉れて豫想以上に大成功でした、殊に「王屬官」はスケールの大きいメロドラマだと好評でした、兎に角東京はじめ各地で大歡迎を受け「近いうちにもう一度是非來るやう」と激勵され、また新しいものを持つて行くつもりですが、滿洲に對する日本の各方面の關心は私共の想像以上に大きいものであることをつくづく感じました、座員一同皆元氣です

自動車の交通違反 ドシ〳〵處分

事故防止に保安科取締り徹底

國都における交通禍の絕滅を期してさきに首都警察廳及び新京交通協會では共同主催の下に全市交通關係各機關を動員三日間に亘り全市に『交通安全デー』を實施交通道德の普及徹底に努める等活動しつゝあつたが結氷期に直面してから輪禍事件は益す頻發する傾向にあり殊に事故の多くが自動車によるものであることから首警保安科交通股ではこれが取締りの徹底を期するため今後自動車には一段と監視を嚴にし近く一齊檢索を實施スピードその他交通違反者の摘發に努め之等は假藉なく嚴罰主義を以て臨む事となつた

トルコ大統領 重態に陷る

【イスタンブール九日發國通】トルコ政府の父として民衆の渴仰を集めてゐるケマル・アタチュルク大統領は過般肝臟病で危篤に陷つた所奇蹟的に持ち直しその後經過良好と傳へられてゐたが、最近病勢再び惡化し八日夜重態に陷つた旨九日公式發表された【寫眞は大統領】

奉天の電話 七百二十圓

商工都市奉天の躍進に伴ひ電話の需要は益々增大の傾向にあり、九日の電話相場は七百廿圓賣りと去る六月の電々急設電話募集當時の安値四百圓からの戾り新高値を示現した

中央卸賣市場 あす開場式

百萬圓をもつて住吉町六丁目に建設中の中央卸賣市場は愈よこの程出來上つたので十一日午後二時より同市場に於て開業式を擧行する事となつた

戰線のひと時

(佛山)

濃度計で測定し

惡い煖房は强制的に改造

首警工場股が積極的取締り

煖房季節に入つて國都に於ける煤煙防止の問題は煤煙防止委員會を中心に大童活動中であるが、首警建築工場科工場股に於てもこれが取締りに積極的に乘り出すことゝなつた煤煙は煙突よりリンゲルマン濃度計により測定、三度以上の煤煙を發散時間一時間に付總計六分以下の場合を理想とされてゐるがそれ以上の濃度の場合は設備の不完全によるものか或は焚き方の缺陷によるものかその二つのいづれかに起因するものであり、今後國都に於ける煤煙禍を一掃するため設備不完全ものにはどし〳〵改造を命じる筈である一般市民に於ても資源節約を高唱せらるゝ折柄施設の完備に焚き方に一段の注意を要望されてゐる

煤煙防止委員會 總會開催

新京煤煙防止委員會では富强國運動の一翼として煤煙防止と石炭節約週間を去月廿七日より一日迄に亘り催し一般市民に多大の反響を捲き起したが、九日午後五時より中銀俱樂部に委員會總會を開催、同週間の運動經過の報告をなすと共に今後の第二段の活動を討議した、出席者は委員長村川市公署衞生處長ほか約二十五名で、村川委員長の開會の挨拶の後、堀幹事の報告があり種々意見の交換があつたが、就中、市公署委員より同週間に三中井百貨店横に設けた燃燒相談所は明春早々市公署の肝煎りで常設の相談所に强化する運びになつてゐること、また、首都警察廳委員よりは愈よ新京において近く煤煙取締規則及び火夫の認可規則等を制定すべく準備してゐることが說明され注目を惹いた、なほ同委員會では市內の會社、官廳などの石炭大口消費者側に對し石炭の焚き方煖房設備の改善などを勸奬する公文を早速發することを決議し六時半散會した

國民精神作興詔書 各學校で捧讀式

國民精神作興週間第四日

聖戰下に迎へる本年の國民精神作興週間は七日から十三日まで一週間日本全國一齊に各種精神的訓練行事が催されつゝあるが本週間のうち十日は畏くも「國家興隆の本は國民精神の剛健に在り」と宣はせ給へる國民精神作興詔書渙發記念日に當るので新京日本側各學校においては午前九時より詔書捧讀式を擧行、一同國旗に敬禮、君が代奉唱のゝち校長恭しく作興詔書を捧讀、奉答歌を合唱、校長の訓話があつて閉式した

古巢慕つて八百粁飛翔

可憐な傳書鳩

一年前の古巢戀しく傳書鳩がはる〴〵八百キロの大陸を翔破して搖籃の地に舞ひ戾つたといふ珍らしい話がある、圖們鳩舍に養成された總局の十一年生れ傳書鳩第七十七號は昨年十月種鳩として奉天總局傳書鳩養成所に移されてゐたが、突如一群から離れて北方の空に消え行方不明となつてゐたところ、九日朝圖們鳩所より總局育成所に宛て第七十七號は當方に元氣で戾つて來たとの入電があつた、所員一同は八百キロの大陸をはる〴〵橫斷して懷しい搖籃の地に戾つて來た可憐な傳書鳩の飛翔ぶりに感歎してゐる

克山病調査委員會

克山病調査委員會は十二日より二日間齊々哈爾龍江省公署で開催、過般國務院で開かれた衞生委員會に於ける同病調査決定事項の具體的實施方法につき協議を行ふ

十五日は七、五、三

新京神社の行事

植村神職十二日に由來放送

十五日は七五三のお祝日、この行事は今から三百五十年程前から始まつた神國日本のみが持つ少年少女の嬉しいお祝ひの神事で三歲の男女兒の髮置の祝ひ、五歲の男兒の袴着の祝ひ、七歲の女兒の帶解の祝ひを言ふのであつて七、五、三のやうな奇數は陽と呼ばれてゐるもので、陽といふのは成長を意味しそれを神樣にお願ひするのである、新京神社でもこの行事は逐年盛大になり昨年は約三百組の參詣あつたが本年は少くとも四百組は下るまいと準備を整へてゐる

この日神社では受付で姓名、年齡を記帳したのち本殿で祈禱を行ひ神社紋章入りの菓子を頒つことになつてゐる、なほこの日に先だち植村神職は十二日午前十時から新京放送局より約二十五分に亘り七五三の由來につきラヂオ放送をなす筈である

奉天市諮議會員

奉天市諮議會員は協和會奉天市本部の推薦により市公署において詮衡中であつたが九日(十一月一日附)左の如く決定「十日午前十一時より市公署において臧市長、土肥副市長列席の下に任命式を擧行することゝなつた

第二國民商業學校長、馬文波(新)天德信商店總經理曹丰堂(新)奉天市商工公會常務理事、劉業漢(新)奉天市商工會理事、張保先(新)奉天市商工公會副理事、陳楚材(新)、王村圃(新)郵政管理局副局長、金振民(新)奉天商工銀行董事長、丁廣文(舊)周文英(舊)金秉甲(新)協和會市本部委員、上田統(舊)南滿中學堂長、安藤基平、(新)滿洲中銀千代田支行經理、鈴木謙則(舊)奉天鐵道局長、古川達四郎(舊)大和區長庵谷忱(新)滿洲市場株式會社取締役社長香取眞策(舊)手塚安彥(舊)滿洲醫大教授、三浦運一(舊)奉天貿易商組合長、西尾一五郎(舊)滿洲機器株式會社專務取締役寺山雄二(新)

滿洲國人事

任權度檢定所技佐 元商工技師 飯島健

敍薦任三等 奉天分所勤務を命ず 商工省保險局總務課長 高嶺明達

任產業部參事官兼理事官 敍薦任一等 補大臣官房文書科長 福岡縣林務課技手 仲寞

任營林署長 敍薦任三等 補五常營林署長 東京市社會局庶務課庶務掛長 井口忠彥

任市理事官 敍薦任二等 補奉天市行政處行政科長 長野地方裁判所判事 小宮山照雄

任審判官 敍薦任一等 補新京高等法院庭長 姬路區裁判所判事 朱世昌

任審判官 敍薦任二等 補安東地方法院兼安東區法院審判官 哈爾濱學院教授 松山茂二郎

任建國大學助教授 敍薦任三等

阿部調査官來京

企畫院調査官阿部勇氏は滿洲國の諸情勢視察のため九日午後五時二十分の列車で來京國都ホテルに投宿した、數日滯在の豫定

あす (十一日)

△谷本司令官以下練習艦隊乘組員午前八時三十五分臨時列車で着京

△中央卸賣市場開業式午後二時

△新民會籃球團對全滿洲籃球試合午後四時半於敷島高女コート

今晚の主なる放送

▲七・三〇特別講演(東京)大野龍太▲八・〇〇マンドリン合奏(奉天)奉天マンドリンクラブ▲八・三〇小唄(新京)高柳由太郎外▲八・四〇時 演藝「明日は晴天」(東京)河村黎吉外▲八・五〇人形淨瑠璃(大阪)

映畫と演藝

「滿洲帝國映畫大觀」製作企畫成る
きのふ第一回委員會

躍進滿洲國の大產業計畫に呼應して滿映が作成せんとする「滿洲帝國映畫大觀」の第一回委員會は九日午後二時より中銀クラブにおいて開催、康德六年度內に大體廿五篇を完成、滿語版を主とし適當なものは拔萃して各國語版に作成國外宣傳用に使用することになつた、滿洲帝國映畫大觀は映畫國策會社滿映がその使命に鑑み躍進滿洲國の全貌をフイルムによつて剩すところなく撮影、さらに適當なものは各國語版を作成して汎く全世界に王道樂土滿洲國を紹介せんとするもので左の七部門よりなる雄大なものである

一、建國篇
二、國務（協和會篇、國軍篇、內治篇、外交篇、司法篇、財政篇、拓植篇）
三、實業（農業篇、工業篇、林業篇、畜產篇、水產篇、鑛產篇、電力篇、商業篇、貿易篇）
四、交通（鐵道篇、道路篇、航空篇、水運篇、郵政篇）
五、社會（教育篇、施設篇、體育篇、衛生篇）
六、文化（土木建築篇、民情篇、宗教篇、藝術篇、科學篇）
七、滿洲國の全貌（海外宣傳用として全篇より拔萃の上作成）

米カメラマンの語る 武漢攻略戰

【橫濱國通】世界戰史に輝く武漢攻略戰に從軍して得意のカメラを驅使したアメリカの有力紙タイム・オブ・ライフの特派員ポール・ドウゼイ、同じくマーチ・オブ・タイム特派員ヴイクター・シヤーゲンス兩君及び漢口に最後まで踏止つて皇軍漢口一角突入の感激的シーンをカメラに收めた米國フオツクス映畫會社のニユース・カメラマンエリツク・メイエル君は九日朝橫濱入港のドイツ汽船グナイゼナウ號で日本に立寄つた、シヤーゲンス、ドウゼイ兩君は語る

吾々二人は日本軍當局の許可を得て武漢攻略戰に從軍したが文字通り迅速な進擊ぶりに殆ど寫眞も撮れぬ有樣で支那軍の逃走の早いのにも驚いた、漢口に到着して感心したのは皇軍の占領により市內の秩序が整然と保たれてゐたことで居合せた諸外國人も口を揃へて賞讃してゐた

次はメイエル君の土產話

漢口には四ケ月半ゐて漢口陷落の直前、去月十八日蔣介石夫妻をカメラに收めることが出來た、漢口陷落の當時はカメラマンは私とユニバーサルの特派員だけでその他に外國特派員が十五六人ゐた、皇軍占領は非常に靜肅裡に行はれ揚子江上の六名づゝ日本兵が乘つた二隻の小艇が一番乘りした緖話も殆んど聞えなかつたこれがため或る外國特派員の如きは日本兵十二名が漢口を占領したと云ふ第一報を飛ばした程です

滿映李香蘭等 十二日歸京

滿洲映畫協會女優李香蘭、孟虹兩孃は滿都絕讚裡に東京公演を打ち上げ目下近藤伊與吉氏引率の下に吉林丸で歸滿の途にあるが一行は東京仕立の和服姿の紐ひも華やかに十二日午後五時廿分新京驛着あじあで晴れの歸京をする筈である

サボテン

元バーロータリにゐたきよみタン、今度バーコルトに現れ相變らずウブな智的な閃きのサービスで相當客をあつめ、おかげであそこのスタンドは連日超滿員といふ繁昌振りを呈してゐる▼COLTとは小馬の意だ相で競馬の好きな彼女小馬にでも乘つてゐる氣で張り切つてゐるのであらう▼ところで彼女元を訊せばフランス語で飯を食はうと大それた考へからフランス語の研究を始めたが途中でフランス語より男が好きになりバーへ轉向現在では男性研究に餘念がない▼從つてもうフランス語はさつぱり忘れて仕舞つて駄目だが、フランス民謠のレコードをかけるとなつかしげに首でタクトを振つてゐる

雜音

豐樂劇場けふからの番組は吉、子の「鬪の彌太ッペ」と桑野通子の「わが心の誓ひ」の松竹再映二本立、前者は封切當時は豫想上に受けたものであるが、でも程度の吸引力は期待出來やう▼先頃より工事中であつた興安大路側の入口も近く完成をみる筈で、完成の上はこの劇場の結構に一層の異彩を添へることになるであらうか、之と共に內面的にも一つの轉機が期待されてゐる▼長春座も目下內部一部を改築中今の舞臺を切込んで座席がかなり廣くとれる、言ひかへればより多くの客を收容出來得るやうになるらしいのだが、希はくば觀客へのサービスの點にも充分に意をはらつておいて欲しいことである

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用（3）三二〇五　營業局專用（3）三三〇〇

發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

必死抵抗の敵を猛擊

壯烈、岳州攻防戰

陷落の運命刻々迫る

【武昌十日發國通】日夜破竹の勢ひをもつて粤漢線上を進擊中のわが軍は十日正午雲溪西南方芭蕉湖を横斷、鐵橋附近並に雲溪南方を芭蕉湖に注ぐ無名河畔に集結、頑强に抵抗する敵軍に對し猛攻擊を加へ一氣に岳州に突入せんとする態勢をとりつゝあり

【岳州東方前線十日發國通】長驅敗敵を急追しつゝ粤漢線西側山地一帶を蹂躪した人見部隊は十日正午松林、九房沖の線に進出岳州防衛陣に大なる威壓を與へてゐる

【岳州東方前線十日發國通】急速果敢なるわが岳州近迫に對し湖南の敵大軍は狼狽しつゝも岳州防衛に死物狂ひの抵抗を試み、橋梁は悉く爆破し特に岳州東側に聳ゆる白石嶺附近一帶に構築された頑强なる陣地によつて小癪にも反擊を繰返しつゝあるが、十日夜また藤岡部隊との間に必死の岳州攻防戰を繰返し壯烈なる銃砲聲は附近の山岳地帶一帶に響きわたり岳州陷落の前奏曲をかなでゝゐる

南岳、衡山を空襲

【〇〇基地十日發國通】陸軍航空部隊服部、二井、野本、柴田の各部隊は九日午後大擧して敵の軍事中樞南岳（衡山西南十六キロ）を爆擊し潰滅的大損害を與へた、また中薗、佐瀨、久保木の各部隊もこれと呼應して衡山を再度爆擊し大損害を與へた

推龍坳進出

【〇〇基地十日發國通】空中偵察によれば昨九日通城を一氣に拔いたわが軍はさらに南進を續けつゝ十日午前九時には通城南方約三里の地點にある陸水上流に沿ふ推龍坳附近に迫りつゝあり、一部はさらに進擊を續けてゐる

遡江部隊も指呼の間

螺山上流に到達す

【上海十日發國通】艦隊報道部發表

△中支方面

一、九日遡江部隊先頭は陸軍上陸地點の接岸掃海を實施し引續き多數機雷を處分しつゝ魚磯及び雷鼓山前面の機雷原を突破して螺山上流に到達し岳陽を指呼の間に迫まれり

二、海軍航空部隊は九日再度衡陽を强襲し軍事施設及び交通機關に大損害を與ふるとともに一部は寧國附近の敵を攻擊、これを潰滅せしめたり、なほ他の有力なる一部は浙贛線の交通路を攻擊、多大の損害を與へたるほか南昌南東方の倉庫群を攻擊せり

△南支方面

一、八日南支方面海軍航空部隊はその大部を擧げて長驅衡陽の攻擊を決行し飛行場及び附近施設を爆擊し、甚大なる效果を收め全機無事歸還せり、本日空中に敵影を見ず

南昌攻略待機

修水河畔に渡河準備

【武昌十日發國通】永修方面から修水北岸地區一帶の殘敵を掃蕩しつゝ修水河畔に進出せるわが軍は鋭意渡河準備をなしつゝ南昌攻略を目指して待機の姿勢にあり、これに對し對岸の修水南岸數十キロにわたつて新たに堅固な陣地を構築し河畔には七重二十重の鐵條網を張りめぐらし南昌防衛の最後的據點の强化に日夜狂奔してゐる

通城を占領

【上海十日發國通】中支軍十日午後五時發表＝わが軍は十一月九日午後四時通城を占領せり

通城の概貌

【通城十日發國通】長沙防衛の前衛陣地通城は岳陽の南方四十餘キロ陸水東岸の一都邑である、地形は湖北省東南部山岳地帶に近く南方に梧桐山の峻嶺を控へ西方に流れる陸水とともに天然の要害をなしてゐる、かなり古い都邑で三國時代からしばしば戰場となつたこともあり唐代すでに縣が置かれた、淸代には湖北省武昌府に屬してゐたが民國になつてからは湖北省政府の直屬縣となつたこの地方の物産としては米穀、茶、麻、棉花等がある

皇軍の努力で粤漢線着々復舊

【武昌十日發國通】支那軍が武器輸送の生命線として最後まで頑守し、わが荒鷲群また長期にわたり爆擊した粤漢線は武昌から既に五十五キロの山坡まで開通し、來る十九日までには武昌、咸寧間八十八キロは列車運轉をはじめる運びとなり粤漢線作戰に多大の貢獻が豫想されてゐる

粤漢線は全長一千百キロ、廣東、武昌の兩端から起工し幾度か財政的に行惱み一九三六年の全線竣工までに凡そ卅年の長日月を要したといはれ、わが軍の追擊が餘りに急でさすがの支那軍も線路破壞の遑もなく辛うじて橋梁を爆破して敗走したのみである、爆破された橋梁は武昌、咸寧間十五ヶ所、その內一ヶ所は佐藤貿部隊の勇士達の一週間にわたる不撓不屈の活動の結果完成に近きまでに修理され皇軍々需輸送の大動脈たらんとしてゐる

梁院長上海へ

【南京十日發國通】維新政府行政院長梁鴻志氏は政務連絡のため十日午後四時廿分發の定期旅客機で上海に向つた、梁院長は一旦南京に歸つた上豫定の如く十五日日本訪問の旅に上る筈

龜山政務處長外務局次長に

後任は尾形書記官

滿洲國の國際的地位向上に對處して政府では外務局機構を擴充すると共に人的要素の充實を圖るべく既に改革案の內定をみた模様であるが長官を補佐すべき次長制採用による新次長には現政務處長龜山一二氏が就任し新たに現駐滿日本大使館二等書記官政務課長尾形昭二氏が外務局入りをして政務處長就任に決定した模様である、尾形氏は大正十三年の東大出で駐滿大使館着任前はモスコーの日本大使館に書記官として活躍し龜山政務處長とゝもに我が外務省內のロシヤ通として定評があり同氏の外務局入りは對ソ外交の重要性に鑑み龜山處長とのコンビのもとに滿洲國外交陣を强化するものと期待される

滿鐵辭令

滿鐵人事は十日附左の通り發令あつた

奉天鐵道局總務課文書係長　副參事　大西喜敏　上海事務所調査役を命ず

鐵道研究所大連在勤　參事　礒兼益三

同　松繩敏太郎

鐵道研究所調査役を命ず（大連在勤）（各通）

皇軍死必の消火作業

敵放火の楠林橋

冷却し行く援助熱

蔣、搔立てに躍起

廣東の奪回を企圖

【上海十日發國通】蔣政權は平素の豪語にも拘らず廣東、武漢等の要衝を支へるの力なく遂に山奧深く遁入の醜態を曝すに至り今や民衆の信用失墜は勿論英國その他諸外國の蔣援助も漸次冷却しつゝあるがなかでも廣東失墜により華僑の蔣政權に對する愛想づかしは從來の財政的援助が大きかつただけに致命的痛手とされる、この傾向に今さらの如く狼狽した蔣は冷却し行く蔣政援助熱を再び搔立てんと支那新聞を督勵全力をあげて廣東回復の猛宣傳を開始する、一方張發奎を新たに廣東奪回前敵總司令に任命、十萬の大軍を犧牲にするとも厭はずと豪稱し目下韶關、英德附近に續々大軍の集結を開始したと云はれ命を受けて張發奎はすでに數日前韶關に到着指揮をとつてゐると傳へられる

平和と生氣

漢口の近況

【漢口十日發國通】赫々たる皇軍の武威の前に慴伏した舊都漢口にいま世紀の黎明が訪れ潑剌たる生氣は街々に漲つてゐる、日中華氏八十度といふ陽氣にはさすがの支那人もちよつと驚いてゐるが、兵隊さんは夏服で大威張りだ、フランス租界第三特別區邊りの外人商館もどしどし店を開けパン屋や洋服屋や雜貨屋と一通りは何んでもあるが物價だけは目玉が飛出る程高い、コーヒー一杯六十錢、ビール一本二圓では手が出せぬ、色とりどりの秋花をならべた花屋には朝早から外人のお神さんが詰かけ街角の支那人の土壕陣地では、外人や支那人の子供がキヤツキヤツ騷ぎながら砂遊びをしてゐる、レコードの甘いメロデーも其處此處の窓から流れてくる、これが十數日前まで死の恐怖にふるへてゐた舊首都更生の姿だ、眞赤なカンナが塀からのぞいてゐる、商業區日華中國區と漢口に新らしい都市計畫が出來十日から實施された、難民には憲兵隊から食糧も與へられこの恩惠に與らんものと何處かに引込んでゐた支那人が家財を背負つてぞろぞろ出てくる微笑ましい風景だ、對岸武昌を距て揚子江の濁水だけが三千年の興亡も知らぬげに流れてゐる

陸軍憲兵學校長更迭

【東京國通】陸軍省辭令は十日附左の如く發表された

陸軍憲兵學校長　少將　島本正一　中支軍司令部附被仰付

東京憲兵隊長　少將　馬場龜格　補陸軍憲兵學校長

憲兵大佐　加藤泊治郎　補東京憲兵隊長

軒崗鎭（山西省）を占領

【北京十日發國通】山西省原平鎭にある中村部隊は七日夕同地西北方約卅キロの地點で五百の敵と交戰、三時間の後これを擊破、追擊して翌八日軒崗鎭を占領した、敵の遺棄死體五十、また石家莊西方廿キロ正太線上の頭泉にあるわが警備隊は四、五の兩日にわたり同地西南地區で四百に餘る敵を殲滅した

北支治安指導の巡警配備につく

【天津十日發國通】北支の新事態に鑑み「新中國の治安は新中國人の手で」のスローガンの下に日支兩當局は河北省ならびに北京、天津兩市公署の巡警中成績優秀なもの千五百名を選拔し去る九月以來原田部隊の手で新時代の警察官たらしむべく猛訓練をなしつゝあつたが訓練の妙と巡警の熱意が見事に結實し十日いよいよ所定の部署につき治安維持の指導的第一線に配置されることゝなつた、これら巡警は河北省全省及び京津兩市の治安に當るのみならず機に應じ特別遊擊隊を編制し共匪及び敗殘兵の掃蕩に當ることになつてをり多大の期待がかけられてゐる

古城少將

割腹自殺遂ぐ

デーリー・ニユース社長

マンチユリヤ・デーリー・ニユース社長正四位勳二等功五級陸軍豫備少將古城胤秀氏は十日午後四時頃大連市初音町十八番地の自宅において軍刀をもつて右腹部並に頸部を刺し覺悟の自殺を遂げた享年五十七

略歴　明治十五年八月鹿兒島縣に生れ明治卅六年陸軍士官學校卒業、翌卅七年三月陸軍歩兵に任じ昭和八年四月陸軍少將となる、この間朝鮮軍司令官副官、靑島派遣軍、英國軍配屬シベリア派遣軍司令部附、弘報部外國通信主任、ワシントン會議全權隨員、支那駐屯軍天津駐屯歩兵隊長、第二聯隊附、支那駐屯軍司令部附新聞班長、陸軍省新聞班長、第十六師團司令部附等に歴任、昭和十年豫備役となり翌十一年マンチユリヤデーリー・ニユース社長となり今日に至る

講演草稿執筆中

感極つてか

陸軍豫備少將古城胤秀氏の自殺は氏生前の人格を知る知人友人の間に痛惜されてゐるが自宅八疊の間に平生愛用の軍刀をもつて見事に左腹部より右腹部を貫き、更に左頸動脈を切斷、周圍鮮血の海の中に從容絶命し、その最期の有様は檢死係官をはじめ故人知己一同の稱讃の的となつてゐる更に今回氏が自殺を遂行するに至つた原因は何ら遺書の殘存を認め得ないため不詳であるが同氏は十日偶々大連協和會館に開催される國民精神作興講演會において「東京大震災を追想し今次事變に及ぶ」の講演の豫定で當日は午前よりデーリー・ニユース社において右草稿を執筆、午後二時退社、直ちに歸宅家人（令孃きく子さん、女中一名）が買物に外出四時歸宅するまでの間に覺悟の自殺を遂げたもので、右草稿は今次事變を迎へてとあり國家多難時を强調するに畏くも國民精神作興御詔書の有難き御言葉をもつてしてをり、おそらくは右御詔書に關する講演草稿執筆中感極まつて亢奮狀態に陥つたものとみられ時局柄同氏の自殺は銃後各方面に著しい示唆を投げかけるものと注目されてゐる、なほ同氏は數年前夫人を失ひ現在自宅には次女きく子さんと女中一人の簡易生活を送つてゐたものである

小林關東軍報道班長談

古城少將急逝の報に接し小林關東軍報道班長は「惜しい人を失つたものだ」と眉頭暗然として語る

滿洲事變勃發當初閣下が陸軍省の新聞班長をして居られた頃私は暫く班員として親しくその謦咳に接し閣下の高潔な人格ゝ謹直な態度には日頃から敬服してゐた閣下が新聞界に轉ぜられてからもその人格は直ちに紙面に反映し報道報國に獻身的な活動を示された、殊に今次の事變には軍の委囑により上海に赴き面倒な外人の折衝に當られ報道上に俊敏な腕を振はれたことは記憶に新しいところだ、閣下は又デーリー・ニユース社長に就任以來多難な經營に當られその發展に盡瘁せられたことは斯界のため感謝に堪へないところであつたのに今この急逝を聞くのはかへすがへすも遺憾である

神吉弘報處長談

神吉兼任弘報處長は古城少將の急逝を悼み次の如く哀情の辭を述べた

私個人としてはただ一回きりお目にかゝつたに過ぎないが武人に稀な文筆家としてつとに人の知るところであり、その人格識見には常に敬服してゐたところです私が弘報處長を兼任する様になつてから仕事の都合上お目にかゝれることを樂しみにしてゐたのに今突如として逝去の報を耳にして誠に殘念至極です

星野錫氏死去

【東京國通】東京實業組合聯合會々長東京商工會議所顧問星野錫氏は肺炎のため十日日本橋の自宅で死去した、享年八十五、氏は多年東京印刷會社々長、取締役會長たるほか諸會社の重役を兼ね大正十年には國際勞働會議に使用者側代表委員の顧問として渡歐代議士だつたこともあり、實業界に重きをなしてゐた

人事往來

▲竹內鶴志氏（京華社々長）八日來京ミクニホテル
▲武宮豐治氏（滿航）十日來京ヤマトホテル
▲高橋岩太郎氏（煤鐵公司）同
▲甲斐喜八郎氏（日本鹽業）國都ホテル
▲櫻井德治氏（岩井商店）同
▲狩野敏氏（東亞經濟調査局）同
▲鈴木鐘二氏（忠淸鑛業）同
▲濱田寬二氏（岡田電機）同

偶語

大本營海軍部の公表によると事變勃發以來十月末までに我が海の荒鷲が擊滅した敵機の數は實に一千四百十五を算へる▼事變以來十有六箇月にして北支五省、上海、廣東、武漢三鎭等敵の重要據點々悉く占領す▼これ一に御稜威の然らしむる事は言ふまでもないがまた一方空軍の活躍を忘れることは出來ない▼凡そこの戰果は世界空軍史上燦然たる偉業にしてその類例を見ない正に世界戰史始まつて以來の戰果である▼世界空軍に立遲れの感ありと云はれた我空軍今日の成果は何に起因するか、それ精神の一語に盡きる▼精神一到何事か成らざらんこの格言の遵守こそ我々が前古未曾有の非常時を打開すべき唯一の途である

社說 洪牙利の問題

チェッコの問題は一應の解決を見た。ところで歐洲政局の今後を見透すために觀察を加へて置かねばならぬ一つの重要な問題に洪牙利の動向がある。といふのは今春のアンシュルス完成以來、獨逸の東方政策は洪牙利からルーマニアへとダニューブの流れに沿つて黑海への方向を辿つて居るからである。この情勢に對して洪牙利はいかなる態度を以て臨まんとするか。

洪牙利は今や獨逸の強い壓力によつてベルリン・ローマ樞軸への完全な融け込みを行ふか、或ひはブレッド條約の遂行によつて過去に於いて相反目する存在であつた小協商國との妥協を圖つて行くか、その何れかを選ばねばならぬ最後的場面に立ち至つてゐるのである。結局に於いてはベルリン・ローマ樞軸への參加を餘儀なくされるであらうと見られるが、それは洪牙利の第三帝國への隷屬を意味するものである。それまでには洪牙利としての苦惱もあらうわけである。

この苦惱する洪牙利の姿を最もよく表現したものが去る八月に洪牙利と小協商國との間に開催されたブレッド會議であつた。同會議はチェッコスラヴィア、ルーマニア、ユーゴースラヴィアの所謂小協商國が洪牙利に對して再軍備實施を承認し小協商國と洪牙利間に起つた紛爭に對しては武力を使用しないことを協定したものであつた。この協定は反獨的存在として一般に認められてゐるユーゴースラヴィアの首相ストヤノヴィッチ氏によつてリードされたものであつた。ストヤノヴィッチ氏は本協定とさきに決定されたバルカン協定とによつて絕えず強國の脅威を受けつゝあるプラーグからアンゴラに至る諸國家を一つの強固なブロックに結成しやうと試みてゐるやうである。勿論中立化されたダニューブやバルカンといふものが決して強力な存在として成立するといふことは不可能ではあるが、洪牙利が斯くの如き意思の下に遂行された本協定を小協商國との間に結んだといふ事實に洪牙利がいかにその自由な獨立のために苦心してゐるかを示すものであらう。ブレッド會議が獨逸に於いては不快な感情を以て迎へられたのはいふまでもない。しかし洪牙利のこのやうな希望も、チェッコ問題に對する獨逸の強力な主張を見るに至つて脆くも潰え去つたかに思はれる。事實チェッコの瓦解は小協商國の中で最も武力あり最も信賴の置ける國でさへ獨逸の東進の前には何らの價値もないことを表明したからであつた。斯くて現在の洪牙利はその國民的希望である自由なる獨立を放棄し、第三帝國の傘下に參加することによつてその永い希望であつた自國少數民族解放の念願を達成しやうとしてゐるものであらう。

第七十四帝國議會 十二月廿四日召集 十日附詔書公布さる

【東京國通】事變下二度目の通常議會たる第七十四回帝國議會は來る十二月廿四日東京に召集する旨の議會召集詔書は十日附官報をもつて左の如く公布された

詔書

朕帝國憲法第七條及第四十一條ニ依リ本年十二月二十四日ヲ以テ帝國議會ヲ東京ニ召集ス

御名御璽

昭和十三年十一月九日

各國務大臣副署

滿鐵明年度豫算 三億二、三千萬圓 對滿事務局に提出

【東京國通】滿鐵明年度豫算編成に關しては目下滯京中の佐々木滿鐵副總裁により大藏省當局と交渉を進めてゐるがこの程滿鐵より右豫算概算案が對滿事務局に提出され、同局ではこれが内容につき檢討を遂げることになつた、しかして右によれば滿鐵來年度豫算は諸購入資材類の價格昂騰第六次國線の建設並に北支交通會社に對する出資等のため本年度豫算總額二億三千萬圓に比し約一億圓内外を膨脹して總額三億二、三千萬圓と未曾有の巨額に達するものと見られ、これが資金調達方法としては大體左の方法によつて調達される豫定である（單位千圓）

一、社債　一七〇、〇〇〇（本年度と同額）
一、政府所有株拂込金　五〇、〇〇〇
一、傍系株開放　七二、〇〇〇（昭和製鋼所株九〇萬株滿洲化學その他）
一、社内保留金　三〇、〇〇〇
計　三二二、〇〇〇

而して右の如く政府拂込金が本年度の二千萬圓より三千萬圓增加して計上されてゐるのは注目すべきことで、滿鐵としては現在政府未拂込株金一億三千萬圓を來年度以降二ヶ年間に全額拂込濟みとなさしめ、その後に增資を斷行する方針であるが、右政府拂込金の增額は大藏當局も大體容認してゐると

米國選擧 共和黨優勢

【ニューヨーク九日發國通】米國選擧の九日午後六時迄に判明した結果は上下兩院とも依然共和黨の躍進を示し知事選擧では共和黨は斷然民主黨を引離して優勢である、ウイスコンシン州においても國民進步黨首領ワイリップ・ラフオレット氏が破れて共產黨のヘール氏が知事に當選したことは米國政界における第三黨運動の結果に暗影を投じたものとして注目されてゐる、一方上議員選擧においてもロナガン、カツタギル、ブラウンダフイ、バルクレイ等民衆黨の錚々たる連中が何れも共和黨の進出の前に敗北を喫して九日午後六時現在の開票結果左の通り

△上院議員
改選さるべき議員總數　三四〇
當選者
民主黨　二一
共和黨　一一

△下院議員
改選さるべき議員總數　四三三
當選者
民主黨　二五二
共和黨　一六五
進步黨　二

△知事選任
民主黨　一一
共和黨　一八

支那、米より購入 超大型旅客機 六臺

【上海十日發國通】交通機關として僅かに航空のみを殘すのみとなつた國府は久しい以前からこれが擴充整備に努めてゐたが今回支那では全くはじめての七十二人乘といふ超大型旅客機六臺を米國より購入、そのうち一機は來年一月香港で試驗飛行を行ひ香港、重慶線に配備他の五機も近く到着の筈で何れも西南各省間新航空路に配備されるが右大型機は中國航空公司が汎米航空會社と合辦により經營するものといはれる

日本電池の勝訴に 米國側上告

【ワシントン九日發國通】京都の日本電池株式會社が米國エキサイト社を相手取り昭和八年來係爭中の三億圓損害賠償國際訴訟は去る八月八日フイラデルフイヤの州裁判所に於て第二審が日本電池側の勝訴に歸したが被告側エキサイト社は先週來ワシントンの大審院へ上告したことが判明した、若し大審院が審議の結果右上告を受理せぬことに決定すれば十二月初頃前判決が決定し日本電池は三億圓の賠償金を得べく若し大審院が上告を受理すれば問題は再び新規蒔直しで審議が開始されこの場合には尠くとも半年位はかゝる見込で大審院の決定が注目されてゐる

建國七周年記念 ポスターを募集 締切りは明年一月十日

協和會中央本部では康德六年三月一日の第七周年建國記念日に掲げる「ポスター」を一般及び學生より募集することになつたが、應募規程は左の通りである

△學生の部
體裁　四六四裁（六寸＝一尺三寸）
樣式及色數　水彩、油繪、クレイヨン、パステル等自由、色數に制限なし、但し金銀色使用のものは採用せず
應募資格　滿洲國及び關東州に居住する小學校以上專門學校學生生徒にして中等學校以上を甲部、以下を乙部とし所管學校長の證明を要す
賞品　一等五十圓、二等三十圓、三等二十圓各一名　佳作三圓二十名以上

△一般の部
體裁　四六制裁（一尺八寸＝二尺六寸）
色數　五度刷を限度とす（金銀を使用するものは採らず）
應募資格　滿洲國及關東州内に居住する者
賞金　一等二百圓、二等百圓、三等五十圓（各一名）佳作二十圓（五名）
なほ兩部共に締切は康德六年一月十日
宛名　新京大同大街滿洲帝國協和會中央本部宛懸賞ポスター係
（一般又は學生何部と朱書）

日本内地の推計人口 七千二百餘萬人 昨年比九十六萬人增

【東京國通】九日内閣統計局發表＝本年十一月一日に於けるわが國内地の推計人口は七二、二二二、七〇〇人であつてこれを昨年の推計人口に比べると九六九、九〇〇人の增加である、總人口中男は三六、一八二、七〇〇人、女は三六、〇四〇、〇〇〇人であつて男は女より一四二、七〇〇人多く女一〇〇人につき男一〇〇四人に當つてゐる、府縣では東京の六、九六三、九〇〇人が最も多く大阪の四、七六〇、〇〇〇人、北海道の三、二二〇、〇〇〇人、兵庫の三、一九〇、〇〇〇人、愛知の三、〇四〇、〇〇〇人順次之に次ぎ最少は鳥取の四九一、二〇〇人である、今年十月一日現在の市の數は百四十八であつて全市の人口の總計は二五、九四六、七〇〇人となり、全國總人口の三割五分九厘を占めてゐる、この内最も多いのは東京の六、四五七、六〇〇人であつて大阪は三、三三〇、〇〇〇人、名古屋一、二二〇、〇〇〇人、京都一、一五〇、〇〇〇人、神戸九八〇、〇〇〇人、横濱七七〇、〇〇〇人以上の六大都市を除いては廣島を筆頭とし十二市が二十萬以上、十萬以上のものには金澤ほか廿二市に上つてゐる

第六、七貯蓄債券 十二月五日から賣出し

【東京國通】勸銀では去る十月五圓の貯蓄債券を賣出したが今回更に十二月五日から廿日迄十圓券と五圓券とを取り混ぜ總額二千五百萬圓（賣出價格）を賣出す事に決定した發行條件は大要左記の通り十圓券の額面及び割增金額が五圓券の二倍になつてゐるほかは總べて前回同樣で年限も同じく十六年三ヶ月、毎年三月、九月の二回抽籤で初回は明年三月となつてゐる、事變下の貯蓄奬勵運動は全國的に徹底し銃後國民の熱誠溢れて着々效果のあがつてゐる際、今回の割增金つき貯蓄債券は相變らず賣行盛況を期待されてゐる

第六、七回貯蓄債券
一、賣出期日　十二月五日より廿日まで
一、發行總額　第六回（賣出價格十圓、額面金額十五圓）一千五百萬圓、第七回（賣出價格五圓、額面金額七圓五十錢）二千二百五十萬圓
一、償還期限　昭和卅年四月一日
一、割增金　第六回（十組にて）等級一等金額千圓、初回卅個、第二回より第五回まで毎回廿個第六回十個（以下同じ順）二等（百圓）四十個、四十個、卅個　三等（十圓）六百個、四百個、三百個
第七回（卅組）一等（五百圓）九十個、六十個、卅個　二等（五十圓）百廿個、百廿個、九十個　三等（五圓）一千八百個、一千百個、九百個

沒落過程を早めた 這般の國民參政會 蔣政權の混亂と醜態を暴露す（上）

重慶において開催された第二回國民參政會議は去る六日閉會したが、同會議に示された政府の報告、提案並に討議等の經過を通觀するに今回の參政會は全面的蔣介石軍敗退を反映して一般的な空氣が著しく低調であり、且つ國民大衆も亦國民政府の悲觀的前途に關聯し、大會に對して大なる期待を抱いてゐないことが看取された

去る七月七日より開催された第一次大會も徐州會戰に徹底的打擊を受けた後ではあつたが、蔣介石の抗戰能力は必ずしも未だ全面的に減退したものとはいへなかつた、從つて大會は異常な興奮的雰圍氣において「徹底抗戰」「各黨各派各階級を統一した民族戰線の結成」を主眼とした諸方針、諸制度は續々制定發表された

爾來僅々三ヶ月を經過するに過ぎざる今日の大會が斯くも悲觀的空氣の下に行はれようとは流石彼等としても考ふるところあつたであらう、しかも常に日軍潰滅を豪語した蔣介石も第二次會議の開會式當日に當つては汪精衛、張伯苓の參政會正副議長並に各參政會員に宛て

現に抗戰の局勢は長江より既に廣東海邊にまで至り、表面上においては敵勢愈々猖獗し吾人のこれに對する對策は益々困難なるが如くである、然しその實狀を考察すれば敵人が南方を侵略したのは僥倖なる奇襲によつたものであり、自ら絕對的境地に赴いた最も策の下なるものと言ひ得る……況や敵人は國を擧げて來侵してをり侵略區域の廣大により財產、稅課は破壞され、交通は之がために阻害された、今後抗戰の前途は既に新段階に轉入した、吾人は如何なる犧牲も避けず凡ゆる豫定計畫に基き九仭の功を致さんとするものである

の如きメッセーヂを電報代讀せしめてゐる、何んとその聲の弱々しいことか？而も今回の參政會の貧困はその出席會員數にも現れた、定員二百名のうち僅かに百廿五名が出席したゞけであつた、電報の傳へるところによれば現在までは單に軍事、内政、外交等の諸報告に止り未だ重大意義を有する何等の決議もなされず、僅かに稍々注視す可きものとしては去る一日の第五次本會議に於て蔣介石擁護に關する五提案が一括上程されたに過ぎない、而も之等各提案は蔣介石を飽くまで徹底抗戰に追隨せしめんとする陳紹禹、秦邦憲一派の共產黨員によつて提出されたものであつた、右提案は何れも滿場一致通過し國民代表は擧國的抗戰の意志を有するが如く感ぜられるが之は現實の國内情勢、殊にかゝる集會的會議の席上に於ては徹底抗戰を表明せざるを得ない事實を知悉した共產黨側に操縱されつゝあることを意味するもので、之は完全に各代表の意思を示してゐるものとは言へないものである、この證據は何よりも各種議案を審議するため五組に分れた各審査委員割當に現れた、同割當は共產黨出身會員の配置に特に重きを置かれたが、次の如き分散方針がとられ、彼等の乘ずる機會なからしめることを期してゐる、即ち主な共產黨員は

第一審査委員會　秦邦憲
第二　同　吳玉章
第三　同　陳紹禹
第四　同　董必武　林祖涵
第五　同　鄧穎超

等と分散され更に又重要議案に對しては一層共產黨側の策動を牽制するやう全體審査委員會制度を設けたものであつた、かゝる國民黨部の苦心の跡にも拘らず大會は共產黨側の巧妙な策謀とソ聯の武力援助を背景とする强引な恫喝策によつて徹底的リードされ、共產黨は會議開會當初に漲つてゐた和平運動を粉碎して國民の深刻悲慘な戰爭再參加に引摺つてしまつた、參政會の成立そのものが既に國民大會の變形的民意機關として激發せる抗戰期間中の民衆獲得を企圖した共產黨の熱烈なる要望によつて創立された以上會議に於ける共產黨の積極的進出は已むを得ないとしても、會議そのものゝ政治的重要性を利用し得ずして共產黨の牽制のみにその主力を注がざるを得ない立場に至つた國民黨の足掻きこそ自ら求めた結果とは言へ餘りにも悲慘である、過去十四ヶ月に亘る無益なる抗戰の結果蔣介石軍は既に百數十萬に達する軍隊と、數十億に達する尨大な土地とを失つたが、彼等は現在尚且つ完全に抗日の迷夢を脫却したとはいひ得ない國府要人の一部にすら既に和平希求の聲さへあり一般國民も漸次國府を離反せんとする傾向濃厚なるにも拘らず共產黨および急進的分子は筆に口に「徹底抗日」を號稱してゐるのであつて、左に掲げる一文は常に抗日的言辭を弄する左翼的某雜誌の「國民參政會に致すの詞」の一部であるがこれはこの一派の代表的所見である

廣東の失陷と之に繼ぐ武漢の危急による一種の悲觀失望の氣分は疑ひもなく曾て少數中國人の間に發生したが大多數の中國人民は民族抗戰が開始され或る期間に至るまでの軍事的能力は日本と比較し得ないであらうことを知つてゐた、沿海並に沿江の一連の交通至便の大城市は守るに由なく武漢の撤退は豫定の事實であつたのだ、從つて問題は武漢の撤退前に於て日本軍の能力を消耗せしめ得たか何うかにあつた、武漢は明かに過去五ヶ月の血戰の後に放棄したがこの期間に於て日本軍は莫大な損傷を蒙つた武漢の撤退は表面上から見れば中國は一つの重要城市を失つたが實際上には日本軍に巨大な代價を拂はしめ戰爭をして第二の段階に入らしめた、大多數の中國人民は持久戰の意義から武漢撤退の本質を認識して毫も騷がず抗戰の繼續を要求してゐる、國民參政會は新段階に轉入せる有利さを指示して少數人の悲觀的心理を打破し政府内の一、二動搖分子の妥協的觀念を肅淸しなければならない、

これは左翼派の焦躁を如實に示してゐるものではあるが、然しながら同派の意見は前記蔣介石軍内の妄想抗戰分子の實勢力と無意有意の中に相結んで一勢力を形成してゐることも爭へない事實である、かゝる勢力は直ちに參政會に反映して大會自體としてはこれら强硬派にリードされ本文冒頭に述べた汪精衛の和平のゼスチュアの如きも大會開會の辭に於て持久抗戰の辭に代へざるを得なかつた理由もこゝに在つた

軍人援護協議會

【東京國通】厚生省主催の軍人援護に關する協議會は十三團體代表を集めて八日開會したが、各團體は隨時懇談會を開いて協力する事に決定、更に在鄕軍人會小泉副會長以下愛婦、國婦、馬政保護聯盟、方面委員聯盟などの幹部等十二氏により小委員會を開き協議した結果、一般國民の隣保相扶の念を昂めるとゝもに軍人遺家族は進んで自力更生以て護國の英靈に應へ、又第一線軍人に後顧の憂ひなからしむべしと官民一致して銃後遺家族援護の固い强化運動を起すことゝなり、厚生省としては軍事援護事業助成費第二回分として三百三十萬圓の内を適宜各府縣に配分してこの運動を助成するほか

一、官民合同の大委員會を設置して軍事援護の綜合的審議機關とする
一、市町村相談所に婦人委員を設置
一、遺家族定期懇談會の指導など種々の具體案を實行に移すことになつた

第十回日滿家畜防疫會議

【東京國通】第十回日滿家畜防疫會議は九日午前十時より農相官邸で開催、有馬農相、高橋、小平兩次官、助川參與官、岸畜產局長他各關係官、陸軍省今村兵務局長、拓務省吉崎技師、滿洲國畜產局宮內防疫官、北支花房獸醫少佐、中支富岡獸醫中佐その他臺灣、朝鮮、關東州、滿鐵及び各府縣關係官等約百名出席、有馬農相より挨拶あり、次で陸相（代理）の祝辭があつて議事に入り

一、事變下における家畜防疫に關する件
一、獸醫學校教育機關改善に關する件
一、日本、滿洲、北支、中支蒙疆相互間における輸出入家畜畜產物の件
一、家畜防疫聯絡機關常設に關する件

等日滿支三國における家畜の防疫に關し協議を重ね午後五時散會した、なほ會議は十、十一の兩日も續行の筈

十月中の出願登錄件數

十月中の特許、意匠、商標出願並に登錄件數左の如し

△特許

	出願	登錄
滿洲國	七	｜
日本	二三九	九八
英國	｜	一
米國	八	｜
獨逸	二〇	六
佛蘭西	一	｜
伊太利	一	｜
諾威	｜	五
和蘭	一	｜
合計	二六七	一一〇

△意匠

	出願	登錄
滿洲國	一	｜
日本	三〇	一〇
獨逸	一	｜
合計	三二	一〇

△商標

	出願	登錄
滿洲國	五〇	三二
日本	二〇三	七五
英國	二	｜
米國	二	九
獨逸	五	二
佛蘭西	五	｜
瑞典	｜	一
チエコ	｜	一
合計	二六七	一二〇

讀者の領分

投中傷歡迎不可

兒玉大將銅像を拜観の所感

滿洲開發恩人として兒玉大將閣下の銅像は菊花薫る明治節の佳日をトして首都西公園に除幕式を擧行した。我々興亞の聖業に進む者は宜しく我等の恩人を胸中に刻みつけねばならぬ、小生は大銅像を謹んで拜觀後實に感慨無量であつた、而してその時次の如く感想が浮んだ

1、現在青年の覺悟すべき事

方今時勢科學日に唱へ而して經濟戰爭や思想戰爭等と云ふ物が人口に膾炙される樣になり如何に善處すべきかは先づ國家中堅分子たる所謂青少年の雙肩に負荷されたる問題である、青年諸君此樣な國家興廢の責任の克服の秋と現代青年の面目を充分に表現する方策は先づ

(イ)自分の心身を共に鍛錬し所謂「健身强國」と云ふ事である、諸君周知の如く偉大なる事業を創造するには體は先づ第一に健全なる心身を具備せねばならぬ

兒玉大將の英姿を拜して から更に此の事の感銘を深くせざるを得なかつた

(ロ)國家觀念の認識學理の探究、世界各國間の政局を熟知するの必要は實に今日の重要問題である

2、東亞防衛陣容の强化

今やソ聯は赤化の野心を懷き各地にその毒牙を伸ばしつゝある、曾ての樂園を荒墟と化せるスペインの戰爭と支那の西北部赤化の爲にその暴威を振つて來たが、さて滿洲と日本に侵入しようとして見たが中々困難である事を感じた今日、日支事變に依つてソ聯の勢力を擊滅し更に武漢三鎭も陷落してソ聯の野心は冷却の兆候が現れて來た、然らば何故にソ聯は滿洲と日本へ侵入する事が出來なかつたかは一つに日露戰爭の時日本の武力を相當に彼等が見て日本の强さを知り容易にその意の儘にならざるを自覺させられたが爲である

然しこれは又一つに兒玉大將の功績でもあるのである、私は今左の如き結論を得た

兒玉大將の功績は防俄の無形鐵壁である即ち東亞防衛陣容强化の一大礎石である

3、日滿支提携の期待

日露戰爭の世界史的意義はスラブ人たる俄國のアジア侵略を日本が敢然立つてこれに當りこれを潰滅擊退し而してアジア本土の主權をアジア人の自身の手に收めたと云ふ事にあるのである、今日の日支事變はその目標をソ聯赤化政策の驅除に置き實に東亞の黎明の役割を演ずるものである、故に支那四億の人民は同じ黃色人種であつて而も同じアジアに在る日本の正義を理解し一日も早く日滿支提携の實を擧げ東亞の防衛陣を强化し無人道なるソ聯を敵として相共に大アジアの目的—道義世界の建設—遂行の爲に努力して行くべきではあるまいか、この點から考へてみた時日露戰爭の時既にアジアを白人の魔手から救つた日本の滿洲軍事策を幄した兒玉大將こそは我等アジア同胞の大恩人である從つて若し今日に於て嘗つて大將が志された興亞の大業に向つて日滿支提携して着々進行してゐると云ふ事を知つたら如何程かこの大將の英靈は欣快に思はれる事であらうか

(歡喜嶺學生KNF)

龍江省管下四縣に於る アルカリ地帶 調査報告(完)

河上重雄

八、水質

調査四縣の水質試驗結果によれば

1、反應—中性乃至弱アルカリ性

2、鹽素—一〇〇ミリを超過するものもあるが大部分は四〇ミリ二〇ミリ

3、硫酸—一〇〇ミリ以上のものもあるが痕跡不檢出のものが大部分

4、アンモニヤ—檢出せるものが約三分ノ一不檢出のものが三分ノ二

5、亞硝酸—不檢出のものが大部分

6、有機物—一〇ミリグラム以上が大部分で一〇ミリグラム以下は少い

7、硬度—一〇—二〇度で一時硬度のもの多く煮沸により容易に軟水を得られる

8、鐵、マンガン—不檢出

九、農業經營

當地方の開墾史は約百廿年前の漢民族の移住にはじまるとされてゐるが、本格的開墾は蒙地開放後の卅年間前後で現在まで開墾された土地は農業地帶においては總面積の約五割、開墾の遲れてゐる地域においては約三割前後で可耕未墾地としてはなほ三割近くの面積が殘されてゐる、經營規模は他地方と比較すると一般に廣く大體一〇晌—五〇晌の間に集中し、一五晌以上の經營農家が全戶數の七割六分を占めてゐる、しかして農業勞働者の農村構成における比重は大體全戶數の三割內外を占め、當地方農法が相當多量に勞力を要求してゐる事實を示してゐる、從つて勞賃は南滿に比較して約三割位高く大頭約一圓卅五錢隨射約一圓廿錢で日屆勞賃は農耕期間が短いのと粗放ながら經營規模が大であるため南滿に比し三割乃至五割方高く農繁期には一圓廿錢—一圓五十錢に達してゐる、次に農家經濟をみるに生計費は一人當食料二石經營費は晌當八斗として家族數を七人とすれば約十五晌にて再生產可能であるがこれは晌當平均收量を二石とした場合であるから一般的には十晌—十五晌をもつて足り、若し小作經營とすれば十五晌—廿晌(小作料三割)を要する見込である

滿洲住友金屬 電氣爐完成

滿洲住友金屬では昨年十月より鐵西北七路約十萬坪に工場建設中のところ、この程六キロトン電氣爐一基を完成、來る十二日火入式を行ひ熔解作業に着手することになつた、なほ本年中には廿キロトン平爐一基が完成、明年早々全工場の整備完了と共に鐵道用鋼の需要に應ずることゝなつた

今後に期待される 資金統制の效果

十月分九六、四七五、〇〇〇圓

物資需給統制の圓滑化を圖る見地から、去る十月一日より實施された滿洲國資金統制法十月中の實績は別項の如く發表されたが、認可申請件數三十九件のうち認可件數は三十四件に達し、餘りの五件は審查未了で不認可の決定をなしたものは一件もない、而して同日中認可されたものゝ中には滿洲明治牛乳其の他の如く必ずしも時局產業でなく不急事業と目されるものについても認可されてゐるが、これは資金統制法の付則による所謂經過的なものに對する認可であつて既に物資の手當が完了し新に需要を喚起しないものに對しての認可である、かゝる認可も十一月一杯で大體一巡するものと見られるので同法による物資調整、金融統制の效果は寧ろ今後に期待さるべきである

認可實績發表

臨時資金統制法は去る十月一日より實施されたが經濟部は同月中の認可實績を十日左の如く發表した、認可件數は拂込徵收、設備擴張、增資、新設貸付を合せて三十四件金額は九千六百萬圓に達してゐる

一、株金拂込徵收

會社名	認可金額(千圓)
富士電氣	五〇〇
國華護謨	二五〇
滿洲重工業開發	五三、二五〇
滿洲特產工業	七五〇
滿洲圖書	一、〇〇〇
奉天製作所	五〇〇
滿洲關西ペイント	二五〇
滿洲油化工業	二、五〇〇
滿洲機器	一、七五〇
滿洲明治牛乳	五五〇
滿洲淺野スレート	二五〇
計十二件	六一、五五〇

二、事業設備資金

會社名	認可金額(千圓)
滿洲林業	一、二五〇
滿洲ベアリング	五〇〇
大和染料	四六二
計三件	二、二一二

三、資本增加

會社名	認可金額(千圓)
敦化電業	[illegible]
安東造紙	[illegible]
大同洋灰	[illegible]
北安電業	[illegible]
盆發合	[illegible]
大二商會	[illegible]
康德染色	[illegible]
計七件	[illegible]

四、會社設立

會社名	認可金額(千圓)
滿洲農業	[illegible]
金廠鑛業	[illegible]
滿洲豚毛	[illegible]
滿洲明治牛乳	[illegible]
東福公司	[illegible]
計五件	七、五〇〇

五、貸付

(一)滿洲興業銀行

借主名	認可金額(千圓)
東裕公司	一、五〇〇
天寶山鑛業	一、〇九三
大同洋灰	二、五〇〇

會社名	認可金額(千圓)
滿洲洋灰	三、〇〇〇
日滿製粉	四五〇
辰村組	一二〇〇
名古屋ホテル	三五〇
計七件	九、〇一三

(二)滿洲中央銀行

會社名	認可金額(千圓)
滿洲拓植公社	五、〇〇〇
計一件	五、〇〇〇

合計三十四件 九六、四七五

農商貸款整理 方針決定

農商貸款整理問題に就てはさきに協和會全國聯合協議會において本年中には整理を實施する旨政府當局より正式に表明されたがその後經濟部においては、これが實行方法につき鋭意研究中のところ來る十二月一日現在額(貸款總額一千六百萬圓中元本回收濟みまたは免除を除く一千萬圓)をもつてこれを關係各省地方費に讓渡し讓渡後の收入は經濟部大臣の認可を經て地方の福利民福增進を目的とする事業に使用せしめることに方針を決定、近く內務局、民生部等關係各部局と協議の上勅令をもつて公布される筈である

(內拂込四百八十萬五千圓)を一千萬圓に增資することになり重役會で內定、來る卅日開催の定時株主總會に附議正式承認を得ることゝなつた、增資金は日本海航路その他の航路擴充、船室の改善充實に當てられるが目下建造中の貨客船氣比丸(四千五百トン)ほか三千トン級一隻、貨物船二千八百トン級一隻、碎氷船三千百トン級一隻の建造資金に充當されるものと見られる、なほ同社は近く設立される日本海々運國策會社への加入を豫定される

滿洲生保成績

飛躍の一途を辿る滿洲生命十月中に於ける新契約は千八百七十八件、二百六十萬圓を示し月末現在契約高は二千八百七十八萬圓で內譯左の通りである

月始現在契約 [illegible]

新契約及其の他の增加 [illegible]

消滅契約及其の他の減少 [illegible]

月末現在契約 [illegible]

北日本汽船 增資內定

【東京國通】北日本汽船では今回現在資本金五百四十萬圓

商況欄 九日後場

●大連株式(短期)

品名	寄付	大引
五品新	[illegible]	—
東新	[illegible]	—
滿業新	[illegible]	—
同紡新	[illegible]	—
鐘紡新	[illegible]	—
滿鐵新	[illegible]	—
大新	[illegible]	—
豆新	[illegible]	—
土木	[illegible]	—

●奉天株式(短期)

品名	寄付	大引
滿取	[illegible]	—
東新	[illegible]	—
大新	[illegible]	—
滿業新	[illegible]	—
同新	[illegible]	—
日五品	[illegible]	—
滿鐵新	[illegible]	—
同紡	[illegible]	—
鐘紡	[illegible]	—
電甲乙	[illegible]	—
同書	[illegible]	—
日郵	[illegible]	—
新業	[illegible]	—
電化學	[illegible]	—

新京取引市況

先物	寄	引	出來高
●大豆 十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	—	—	—
●高粱 九月限	—	—	—
十月限	—	—	—

手形交換高(九日)

[illegible]

鮮魚小賣相場(十一月十日)

品名	最高	最低
活鯛	一二五	八五
氷鯛	六五	四五
中鯛	六五	三四
カスゴ	…	…
チヌ鯛	…	…
アマ鯛	五〇	三〇
イセエビ	三五	一八〇
車エビ	[illegible]	[illegible]
白サエビ	[illegible]	[illegible]
中エビ	[illegible]	[illegible]
その他	[illegible]	[illegible]

錦ケ丘高女生 母國修學旅行記

第五信(上) 中川知佐子

熱海!! 金色夜叉の熱海に別れをおしみつゝ私達一行は三臺のバスに分乘した。內地とは云へ十月下旬の朝を聞いたせいか、バスの中にも幾らかの冷氣はあつた。が二十餘人の人々の息で溫みかへさられた。バスは急カーヴをしながら細目の道にかゝつたバスの中は、はしやぎ盛りの私達によつて朗らかな空氣に滿ち溢れた。バスガールのかすれた聲の說明をききながらバス十國峠にかかつた。斷崖絕壁である。屛風の樣なきり立つた岩を兩側にひかへ、バスは巨體をゆるがせつゝ十國峠頂上にと急いだ。しつとりと汗ばんだ樣な風を頰に受け流しながら……

※ ※ ※

バスガールの說明によりふと顏を揭げた。見よ前方の彼方を!! 我が大日本帝國のシンボルたる莊麗雄姿の富士が燦然として輝いてゐた。生れてから繪でしか味ひ得なかつたこの富士を、今かうして直上眼前に見られた時の私達の心境は!! 待望中の待望の富士を!! 私達は唯々感歎の言葉を發するのみであつた。冷風に身をふるはせながら高臺にて寫眞を取る。再び車上の人となり德川時代の遺跡箱根關所を訪れた。でも豫想以外に小さくて、みすぼらしかつた。こんな所であの樣な權力を得てゐたとは思はれなかつた。再び下車し記念の寫眞をとる昔を偲びつゝ少し休憩する。約三十分の後元箱根へと足を運んだ。途中色々な珍事が起つて大笑ひした。愈々待つた湖水廻り、下關海峽とは隨分異つた趣があつた。乘心地と云ひ、景物と云ひ斷然皆氣に入つたらしい。未だつきぬ名殘をおしみつゝ湖尻に着きバスに分乘し大涌谷へと向つた大涌谷近くまで來ると異樣な臭がした、硫黃の臭だそうだ再び車中の人となり上強羅へと急いだ。まどろつこしいケーブルカーで強羅にやつと着いた。込み合ふ電車ですし詰めにされ小田原着。乘り換へて片瀨驛に着き徒歩にて江之島の旅館へと急いだ。長い長い橋だつた。旅館に荷物を置き江之島見學、皆んなの一番印象ずけられたのは恐らくあの幾段も〳〵もの階段らしかつた、みんな汗水たらして、はあ〳〵云つてゐた。江之島神社參拜、洞窟見學、みんな疲れてはゐたけれど面白さ珍らしさ、恐しさにキヤア〳〵云ひながら洞窟を通つた。形の珍らしい岩をふみつけ〳〵海岸に出て、天然の公園に遊び、大いに海の大氣を吸ふ。これで海國女性とも云はれるだらう。

※ ※ ※

うすら寒さに氣がつきふと目をさました、五時半だつた。皆旅のつかれでぐつすりねむつてゐた。八時出發、橋を渡り驛に着いた。間もなく電車に乘り込んだ。車窓より腰越寺、七里ケ濱、稻村ケ崎(一名靈山ケ崎)極樂寺坂を眺めつゝやつと長谷に着いた。小學校時代に習つたかの有名な長谷觀音に行つた。これは國寶だそうだ。愈々奈良の大佛と並び稱される鎌倉大佛見學、奈良の大佛より少し小さかつたが、それでも隨分大きな御體をしてゐらつした。柔和な御顏でぢつと私達をお惠み下さる樣な氣がしてなんとなく安心した樣な落着いた氣持になり、案內の上手な本田さんの說明を聞きつゝ、うつとりとしてゐたきつゝ、うつとりとしてゐた大佛樣の中を見學する。何だか恐ろしい樣な氣持になりつゝ、それでもずん〳〵奧へと進んだ。丁度頭の所に金色に輝いた佛像が安置してあつた尙一層尊い樣に感じた。

懷心を深くし名殘をおしみつゝ一行は鶴岡大八幡宮へと步を進めた。應神天皇、仲哀天皇、神宮皇后の御三方を御本尊とし、源氏の守り本尊、又軍神としてある。漢口陷落の爲、旗行列で大變忙しかつた可愛らしい幼稚園の生徒が小さいお手々に旗を振りつゝ嵗々々と云つて行列に加はつてゐるのを見ると、何か知ら胸に熱いものを感じる。

十五日は七・五・三 茲にも軍國調萬歳

さてお値段は（三中井調べ）

十五日は七五三、その起源は遠く鎌倉時代であつて三才には髮を結び五才の男兒は袴を着し七才の女兒は帶を結ぶ出來に依るもので、當日は美しく着飾つた子供さんが母さんや姉さんに連れられて氏神樣へお詣りに行くならはしに神社の社頭は賑ふ。そろ／＼嬉しい晴着も出來る頃今年の流行は？何と云つても時局柄豪奢な最高級品や極く華やかなものは蔭をひそめ軍國調一色將官、陸海の荒鷲航空兵などが最も喜ばれてゐる、値段は男子海軍禮服ラシヤ製金モール付四十二、三圓迄、陸軍禮服二十五、六圓迄、航空服十七圓位迄が最も需用多く女兒だけは流石和服にする人もあるが帶、履物共一切で三十四五圓、人絹物で七、八圓から十四、五圓と云ふ處であるが特に今年は諸事節約の折柄とて特別に七五三の仕度をせず三、四圓から廿圓位迄の通常子供服で間に合はせる向きが多い（値段は三中井調べ、寫眞は三中井の陳列窓から）

嚴冬の戰線（下）

食物の末路も凍る 零下三十餘度！

三

水は零度になると氷結するといふのが常識である。それに零下を降ること三度、四度五度、六度となつてまだジャブ／＼の水である等と云つても殆んど誰も信用してくれない。水の悪い蒙古でも冬凍結した河の底の水は實に淸いものである。軍隊の行動間、時に河の堅氷を割つて河底から水を獲ることが屢々ある。鎗の樣な格恰をした碎氷器で氷に穴を掘る。割合容易だ。最後にバリ／＼と水の層を突き破ると噴出する程でもないが、つて氷の表面に迄も溢れ出る樣になる。上からの厚氷の壓力で抑へつけられて壓力を受けてゐるから、穴が明くとそこへ擡り上つて來るのであるこの水に若し溫度計を差し込んで見ると、時期にも處にもよるけれども、零下四度、五度は通例である。水は零度で凍るものとしてゐる常識から「チエッ、この溫度計狂つてやがる」と惜しむべし折られたのも事實あつたことである。

四

小便も糞も食物の末路といへるので、ついでにお話しする。

落語ではよく、「一極寒地で小便をすると、そのまゝ捧狀に凍つて了つて、それをステッキについて歩く」などといふがこれ丈けは嘘である。身體から出たての

小便は 體溫と同じ三十七度近くあるのだから、いくら寒いからとて垂れたまゝ、ステッキ狀に凍りやうもない。北滿でも一番寒い牙克石で試して見た。罐詰の空罐に、小便を乘れて、どれ位で凍るかをやつて見た。雪の行軍間、晝食の大休止の時、時の氣溫が零下三十二度風も想當ある。三米位はあつた。靴の先で、そつと動かして見たり、手先で輕く罐を叩いて見たりするが、中々凍らぬ。やうやく表面に薄氷が張つたと見たのが二十二分の後である。すこし强く足先で動かすと、がしやと表面の水は破れるが直ぐ又凍り初める大休止の時間も來て

前進の 號令が下つて、未練の殘る小便の空罐を靴先でそつと倒すと表面の氷はこわれないで周りからジョ／＼と液體が出た垂れてから四十二分目。小便の量は凡そ四百CCである。

これは北海道でも經驗されることがあるが、大便は凍り積つてピラミット型になり、尻に閊える。相當深く掘つた糞壺も直く使へなくなる、鐵の棒でつゝき壞して使ふ。蒙古の騎兵營に居た頃、蒙古兵の大便所に入ると案の定糞のピラミッドである。處が髮に簪をさしたやうに、ピラミッドに羊の骨が一ぱい刺つてゐる。

日系の將校に、その理由を訊しても誰もその

理由を 說明して與へるものがない。中には大便中、無聊だから羊の骨附肉を持ち込んであとのたべのこりの骨を捨てるからだと、さも知つた風の說もあつたが

眞實の處は用便後、尻を拭ふのに蒙古人は紙がなくて、羊の骨で拭くのであつた。

少ない髮をふつくら見せる結方

近來益々髮が薄くなりました上、長年の間和髮を結つてゐた爲に出來た禿がありますので、結髮に苦勞して居ります 白髮は比較的に少い方です、髮をふつくらと結ふ方法はないでしやうか、といふ樣の中年の御婦人方がよくあります

◇…髮をふつくらと見せるよい方法としてパーマネントを御奬め致します、パーマネントの特性として髮全體に波が出來少い髮でもかなりのふくらみを見せます、五十を過ぎられた方でウエーブを出したくない方でしたら、セットをする時一番外の髮にゆるい鏝をかけてウエーブをのばしたのをウエーブのついた下の髮の上へかけますと、かなりのふくらみを持たせる事が出來ます

◇…それなれば、始めから上側の毛だけパーマネントをかけなければよいではないかと思召す方がおありでせう、パーマネントをかけない髮は中々生きがよく滑つこくて、大人しく下毛の上へのつてゐないのです、わきへ滑つたり致しますと、中のパーマネントのかゝつた毛が透いて見えてこれこそ醜態です、ですから上毛と下毛を一應同じ性質にしておく必要はあるのです

健康相談

便通の具合が惡い

（問）二十八才の人妻ですが一年半前から用便の度に何の苦痛も有りませんのに出血（少々澄む位ですが）して居ります、それに五、六ヶ月程前病氣の爲め一週位便秘後遂もひどい堅便で一時間餘りも苦しみました其後毎日便通は有りますが餘り力んだ故か肛門が用便の度に出ますので押せばなほりますが此のままにしておいてよいものでせうか何の苦痛もありませんが心配でなりません何か自宅で療法は有りませんでせうか（一愛讀者）

（答）御尋ねの症狀に依れば多分痔核がある樣に思はれます 一般に痔核があれば排便に際し疼痛、出血、腫脹等の症狀が現はれます、治療の根本は痔靜脈の鬱血を來さしめる一切の條件を除外することです、先づ自宅療法としては便通を規則正しくする事、それには野菜食、就寢前の一杯の鹽水、適度の運動規則正しき生活等が必要であります。其他刺戟性食餌、長時間の作業を止め局所を清潔に保つことが大事です巷間の賣藥を長い間用ふることは餘り感心致しません。根本的に治癒せしめるには手術を最も推奬致します。一度信用ある專門醫の診斷を受けられゝば今迄の御心配は解消致すものと思ひます。（回答者新京特別市立醫院內科醫員桑波田節）

一家に一本

體溫計の知識

體溫計は醫者だけが使ふものではありません、一般の御家庭でもなくてはならぬものです、形の上から體溫計を見ると棒狀のものと平形の二種あります、また棒狀は凸形のものと普通の丸い棒狀の二つに分れます、ことさらに凸形にあるのは內容の水銀柱を大きく見易いやうにするためです、棒狀のものは、目盛りがガラスの表面にありますが、平形のものはアルミまたは乳色ガラスの目盛板を特に中に挿入してあるのです、さて普通家庭でもとめる場合どちらがよいか。

理論上からは、平形は棒狀のものとちがつて、水銀の入つてゐるガラスと目盛板とは質が同一のものでないので、膨脹系數を異たするため、正確度は棒狀に劣るとされてゐます、また同じ平形では、アルミよりも乳色ガラスの方がよい、これは乳色ガラスの方が膨脹系數が小だからです、測定の方からの種類は、卅秒計一分計、五分計といつたところですが、事實は卅秒計でも五分ぐらゐかけねば正確な體溫は計れない。

また棒狀に對して平形は膨脹系數の關係で多くかける必要があるとされてゐます、壽命は製造してから檢定に出す迄半年位おいたものは溫度の狂ひが來ないので、さう半年や一年で使用に堪へぬやうなことはまづないでせう、お買ひになる場合藥局で値段は八十錢くらゐから二圓五六十錢位迄あるが高いものはやはりガラスの質のよいものが使用されてゐる、尚最近は國產にも舶來品を凌駕するいゝものが澤山あつて、逆にアメリカ、ロシア、その他に輸出してゐるほどです。

飯炊きのコツ

家庭燃料讀本 火加減と蒸し加減が大事

御飯炊きの コツも結局は水加減と火加減即ち燃料の使ひ方一つです、水加減はこゝでは問題外ですから先づ火加減についていひますと、昔から御飯は薪炊きに限るとかガスはまづいの、また土竈がよいのと色々いはれてゐますが、要するに御飯の沸騰するまでは何燃料で炊いても變りがないが、その後の蒸し加減によつておいしくもまづくもなる譯なのです、薪や木炭はこの蒸しが極めておだやかでその餘勢が有利に利用されるから他のものゝよりもよいといはれるのですが

ガスでもこの 要點を心得て沸騰後は焰を小さくし、こげつかせないやうにして徐々に水分の蒸發と蒸しの完全な焰の大きさと時間を御飯の分量に應じて御めい／＼の鍋で一度研究して置きますと、決して薪や木炭に劣る筈がない譯ですからうした細かな研究は現在の家庭の主婦の方々にもつともつと努力していたゞきたいと思ふのです、なほこの御飯炊きの蒸しの解決をごく簡單に與へてゐるのに

蒸しかまど があります これにはガス用と木炭用と兩方ありますが、何れにしましても沸騰までは普通狀態に燃料を供給し沸騰したら火を弱くして數分間後、または沸騰後直に（これは蒸しかまどの種類によつて違ひますが）火を消し風口を密閉してあとは餘熱だけで放置して適當に蒸してゆく方法なのです、なんべんも蓋をとつて樣子を見る心配もいらず、またお焦げの心配もなく

蒸しが穩か ですから御飯の出來ばえがよろしいといふのでよく利用されてゐます、元來燃料は第一回にも申上げた通り實際使用のうちよく用ひて僅々三四割しか利用されないものですから、密閉してなるべく熱量を逃さないやうにするとか餘熱を利用するとかを考ふべきです、蒸しかまどはまだ／＼改良の餘地がありますがかまどを熱するために過分の燃料を費さないもの、熱の逃げる量の少いもの等をよく詮議して選ぶことです、焰と鍋底との間隔の適當かどうかを調べることも重要なことです

コロチャン 17

コロチャンガッコウデスヨモウオキナサイ
ハイ

カンチャンガッコウヘユカフヨ
アァマッテヨイマユクカラ

アッシマッタウンドウグツヲワスレテキチヤッタ
ナァンダワスレンボウダナァ

キミシュクダイヤッタカイ
ワッワスレタッ

けふの番組

ラヂオ

【M・T・O・Y 新京放送局】十一日金曜日

朝

七、〇〇（大連）ラヂオ體操・入港船のお知らせ
七、二〇ニュース
七、二五（大連）初等滿洲語講座 幸 勉
七、五〇（大連）朝の音樂
八、二〇 氣象通報
八、五〇 建國體操
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東京）家庭講座
一〇、〇〇 婦人の知つておくべき國際情勢（下） 大同學院教授 牛田敏治
一〇、二五（大連）料理獻立
一一、三五（大連）家庭メモ
一一、四〇（大新）經濟市況
一一、三五（大連）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

晝

〇、〇一 晝の演藝（レコード）（一）歌謠曲と俚謠
一、北滿だより 上原敏
二、廢墟の月 東海林太郎
三、麥と兵隊 東海林太郎
四、最後の訓示 上原敏
（二）俚謠
一、鹿兒島角力節 喜代治
二、伊那節 音丸
三、會津磐梯山 音丸
四、木曾節 鈴木秀桃
一〇、三〇（東・新）ニュース
一、〇〇（大・新）經濟市況
三、〇〇（東京）經濟市況
三、二〇（東京）ニュース
四、〇〇（東京）經濟市況
四、四〇（大・新）氣象通報・ニュース
五、二〇ニュース「鮮語」「鮮語」

夜

六、〇〇（東京）子供の時間 兄さんの手紙 ラヂオ小說 安相泰 ラヂオスケッチ 戰線から 赤城みちを・作 森乙・作曲 木馬童話劇研究會
六、二〇（東京）コドモの新聞 關屋五十二
六、二五 王道講座（二） 大同學院教授 松浦嘉三郎
七、〇〇（東京）ニュース・告知事項・今晩の番組
七、三〇（東京）國民歌謠 國に誓ふ ヴオーカルフオア合唱團 伴奏 東京放送管絃樂團
七、四〇（大連）講演 硬くて軟かいもの ＝金屬研究室余談＝ 工學博士 志村繁隆
八、〇〇（東京）ピアノと管絃樂 一、ピアノ協奏曲第二番イ長調 リスト作品集 二、ハンガリヤ幻想曲 ピアノ レオ・シロタ 管絃樂 日本放送交響樂團 指揮 ヨーゼフ・ローゼンシュトック
八、四〇（東京）千人大合唱 ＝日比谷公會堂より中繼＝ 都下各音樂學校合唱團 大日本聯合合唱團 早稻田大學音樂部 專修大學音樂部 立正大學音樂部 東京農業大學音樂部 大正大學音樂部 東京美術學校音樂部 東京醫學專門學校音樂部 昭和醫學專門學校音樂部 實踐女子專門學校音樂部 一、（奏）國行進曲 長谷雄 二、內閣情報部選定 橋本國彥編曲 明治天皇御製「鏡、心」 阿蘇 岡野貞一謹作曲 林古溪作詞 信時潔作曲 明治天皇御製「友」 下總皖一作曲 二、合唱（管絃樂伴奏） 東京音樂學校生徒管絃樂部 海ゆかば 指揮 澤崎定之 國民歌 信時潔作曲 大日本の歌 山口正男編曲 角田あらた作詞 山田耕作作曲 芳賀秀次郎作詞 東京音樂學校作曲 橋本國彥編曲 國歌「君が代」二唱
九、一〇（東京）時事解說 支那の今後はどうなるか 佐藤安之助
九、三九（東京）時報、ニュース、ニュース解說
氣象通報、ニュース、告知事項、明日の番組
一〇、三〇ニュース再放送
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間
アナウンサー 渡邊、上森 池谷（晝）、荒井、古島 田中（夜）

明暗

出生

▽興安大路陸軍官舍第五十七號中山眞積次男長士（八月二十七日）
▽興安大路宮下陸軍官舍三十三號森田利咲次男重信（九月九日）
▽興安大路宮下代用官舍五八號田中保隆長男保弘（九月十一日）
▽淸和胡同七一三番地小河原龍之助、明（九月十四日）
▽昌平街七一七森武男四男新彌（九月十九日）
▽淸和街七一三盆永次男長男考章（九月十八日）
▽千早町滿鐵社宅十四號ノ四早坂三郎長男光利（七月三十日）
▽昌平街三一九番地高須彰長男博章（九月二十日）

學藝

春風（六）

張天翼作　大藤巍譯

一時半になつてこの事件は正式に結末がついた。

そこで丁老師は苦い顏をして佟校長の所に行つて相談をした。校長をもう今後怒らせないやうにしやうと思つたのだつた——醫學上の立場から見て、これは確かに本人の健康に宜しくないからである。

佟老師は言つた。

「實際もう忍ぶにも忍べんよ尤鳳英の兄貴は運搬夫だ、考へても見給へ！」

そこで佟老師はまた聲の調子を高めて來た。世界の萬物——で彼が一番憎んでゐるのは運搬夫なのである。そこで彼は又漢口へ行つた時の事を話し出した。うおう！その運搬夫は彼から二圓の金を强奪して、他の奴を見付けて來て荷物を擔がしたのだつた、もともとあいつらは「明比奸たるもの」なのだ。

この話は何度もやつた事があるのだが、他の者なら注意して聞いた、邱老師はなほ同情して溜息を吐いた。

金老師だけがそれを構はなかつた。紅い眼をして一心に新聞を讀んでゐた。

故事を說いた校長はぢろりと金老師を見、肚の中で唸つた。

「この男は一體運搬夫を惡者だと思つてゐるのかどうか、この男は……」

それから丁老師の方に眼を注いだ。

丁老師は眉をあげた。彼は誰かが自分にビイダミンを欲しがつてゐると考へた。そこで肩を聳かし、唇をつぼめた。それから横を向き、チャップリンみたいな姿勢でフラ〳〵と戶口を出て行つた。兩脚で八の字型を描き、膝を曲げて痛さうにした。自分で笑つてふるへてゐた。しかしけんめいに笑ひ顏を出さぬやうにした。

門口に行つて彼はけんめいに舌先を咬んで笑ひを耐へた。チャップリンのあの馬鹿げた恰好を眞似て——振り返つてじろりとみんなを眺めた。

だが誰も彼の方を見てはゐなかつた。

喧嘩をやつてゐる連中は息をきらしてゐた。任家鴻の服はめちやくちやになつてゐた。錢素貞の旗袍にも澤山の皺が出來てゐた。

尤鳳英の顏は蒼白になつてゐた、それに紅や紫の筋がはしり、全身ふるへてゐた。

校長さんは彼女を見て眼をみはつた。口をきつと嚙んだ。

「ルンペン！悍婦！畜生！喧嘩をするなんて、喧嘩を！」

「私達はあんまりひどい目にあはされ過ぎてるわ、あんまりひどい目に……」

「ひどい目に——それぢや先生に訴へないのか？」

尤鳳英は口を尖らした、手で拳をつくりぶつ〳〵言つた。この樣子では又發作を起しさうに思はれた、しかしやがて彼女は身體をひるがへし少し步んだ。彼女は齒を咬んで言つた。

「先生に話す——先生に話して效目があつたら不思議だわ！」

この言葉がみんなをびつくりさせた。

佟老師は額に青筋を立て、髓さへが爆發しさうな樣子であつた。彼は跳び上り、拳を空中で振ひ、咽喉が破れるのも怕れぬやうにして叫んだ、

「お前何を言ふんだ、何を！お前を退校にする、早速だ、出て行け、畜生！尤福林も退校だ！…皮老師！皮老師！掲示を書いて下さい、二人を退校にして下さい、早速書いて下さい！……」

彼は數步進んで又引返して來た、どんなにしたらいゝか判らなかつた。白くなつた唇がびく〳〵動いてゐる、鼻がスッスッと音を立てゝゐる。

數人の子供たちは眼を大きくみはり、馬鹿になつたみたいにして彼を眺めてゐる、彼は大きく叫んだ。

「出て行け！」

やがて彼は又部屋に這入つて行き卓をたたいた、皮老師に早く掲示を書くやうにと言つた。

「うおう！うおう！馬鹿奴が！悍婦めが！本當に、本當にうおう！あの女は牢にでもぶち込みたいよ！」

外の數人の教師たちはみなだまつてゐた、ただ戶口に騒いでゐる生徒たちを追ひやつただけだつた。

邱老師は金老師の方をじろりと見、又丁老師の方を見た。彼の顏には少しの表情もなかつた、右手はいつものやうにその胸に當つてゐた、校長がハアハア言つてゐるのを見て彼は自分に言つた。

「うゝん、馬鹿奴——！こんな小さな事であんなに怒り出したりして！」

その實生徒を退校にするといふ事は——每月數回はあるのだつた。これも佟校長と皮事務員の一種の嗜好となつてゐたのかも知れぬ。

バリゲキ機

小說へ
—火野葦平「土と兵隊」（「文藝春秋」十一月號）—

前に發表された「麥と兵隊」があるため、それと比較して考へられるのはやむを得ぬであらう。

これは手紙の形式で書かれてゐるため、より一層單純化されてゐる。こゝにもやはり光つてゐるのは作者の眞摯であり、その心構へなのである。

敵前上陸を前にしての輸送船上での生活、彈丸下敵前上陸の情景、それにつづく攻擊、その間にも戰友はたふれてゆく、そして作者はそこに見事につくり上げられてゐるすべての人間の協力といふものをはつきりと見出し說いてゐる。

私としては「麥と兵隊」の方にやはりそれだけのヴォリューム感があるのを感ずるのだが、どうであらうか。小說を書く積りではないと、いひつゝもどちらも書き上げられたものが小說となつてゐることは間違ひない。ただ「麥と兵隊」の方により强い文學的な內容を讀み取るのである。前線多忙の間にこの作をなした作者に敬意を表する。

（御国衛士）

土瓶兵

菫川千童

望み無きか　現世の
ひとの　世界に隔離されたる
家の中
一室に　並ぶ　一塊の土瓶の
中に
生きてる兵ぞ　住ふ　生きてる兵ぞ
これぞ　ひとの　悲しみていふ土瓶兵
夜　更てか　兵の魂　戰場に
馳れども
今は　兩の眼閉され　四肢全く失ひて
されば己が身　動かせじ　動かせじ
しかれども　尙　生きてる兵の
青春の夢を追ひ　樂しき幻想
浮びて
熱き血潮　四肢なき　體內に
躍れども
吾　再び生きては　人ならじ！
これは　恐しき現實の絶望ぞ！
皇呼！夜半　瞑目　瞑目し
刻々と迫り來る　己が死を抑ふか
われら　生きてる兵の　御靈
安らかに
大和の神たれと　祈るぞ　土瓶兵

一九三八・一一・八

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△北支那（十一月號）「政治の貧困を憂ふ」梨本祐平「北支に於ける石炭輸送の現況」滿鐵北支事務局配車課「山西省の農業」鐵獅子「北京救援軍」淸見陸郎等（天津榮街、北支那經濟通信社、五十仙）

△綠十字（第四十一號）「戰爭と國民體位」遠藤繁淸外（大連市外小平島保養院內綠十字會、二錢）

△正金週報（第四十三號）（橫濱正金銀行調查課）

△新天地（十一月號）「調停手干涉手」岸田英治「漢口陷落後蔣政權抗日據點」一金崎賢「チエコ紛爭其の後に來るもの」北條政二「最近の滿人文學」大內隆雄「迷宮」北村謙次郎等（大連楠町、新天地社、三十錢）

△財界之日本（十月號）「チエコ敗退の過現未を描く」村川堅作「戰後經濟は何うなる」服部文四郎等（東京京橋區銀座西、財界之日本社、四十錢）

△滿洲評論（第三六一號）「ナチス國家景氣の本質と平和產業」柳澤博外（大連東拓ビル、滿洲評論社、十五錢）

△石家莊（奉天住吉町、ツーリストビューロー）

△東亞商工經濟（十一月號）（大連商工會議所）

△昭和十二年關東局管內現住人口統計（關東局）

△實業之朝鮮（十一月號）「一經濟戰重壓を忍び支那人心理を把握せよ」鎌田正一「總督府言論政策に注意を拂ふ」松山高長等（京城本町五丁目、實業之朝鮮社、五十錢）

△ごろつちよ（十月號）「詩に於ける聯想」梶浦正元「朗讀藝術としての詩の朗讀」鮫島麟江、女性詩人の詩、隨筆雜誌（東京市豐島區雜司ヶ谷町二ノ五〇四ごろつちよ詩社、三十錢）

△健康滿洲（十月號）「在滿邦人體位向上の急務」陸軍少將越生虎之助「瓦斯中毒死は何故起るか」井之川元雄その外多に備へる保健法（民生部內、滿洲結核豫防協會、二十五錢）

△大吉林（十月號）「吉林に大觀光ホテルを建てよ」野田京太郎、色ページの投書欄に吉林の感じを出してゐる（吉林大東門裡大吉林社・三十錢）

長靑

張稚盧作　川內堯譯

二

彼は長靑を知つてから、二ヶ月程になる、その間この女は殆んど每週一度はやつて來た。やつぱり手紙を書いてくれと言ふのである、そしてはやつぱり愛嬌たつぷりなことを言つてゐるのである。「もうこれが別れだと思ふと泣けて仕方がないわ」と言つたり「この天の定めた緣がうまく行かないんだつたら、もう誰だつて死んぢまふわ」と言ひそして笑つたりしてゐるのである。そんな悲しいことを言ひ乍ら何故にこ〳〵笑つてゐるのか、そしては又、書生つぽうと惡口を言つたりするのである。筆を取りながら彼の氣持はこの女に大いに同情してゐるのである。

手紙を書くのは、普通は十仙だつた、それが一元なのだ、かうした氣持は一寸解き難い。それに、この女は元來字を知つてゐるのだ、それが頻々と街頭に卦を賣る先生に見て貰ひに來る、それには何の理由があらう？彼にはそれが判らない、しかし彼にはこの女が特別に可愛く思へる、自分で考へる、自分に對して何か考へてゐるのではあるまいか？

だが街頭の乞食みたいな墮落靑年に、うまく女の愛情がかち得られるなんて、これはおかしなことだと思はれて來る自分でひそかに思ふことだがそれもいけないと思へて來る

だが意識的に無意識に、この女は彼を憔悴させた。

實際に金があつて妓女の身體に手を觸れるのなら、これは誰だつて遠慮する要はない

彼は曾て思つたことがある。長靑に對して、肉體を要求した方が安堵出來やう。金錢の面から言へば、妓たるものは嫖客のどんな要求も容れるべきなのだだから、彼は二ヶ月の準備期間を經て無遠慮に一夕長靑と娛しまうと思つた。

彼は、長靑に對しこのことを言つた

「僕は翠雲樓に明日の晩君をたづねて行かうと思ふ」

「本當？」

「本當さ！だが僕は今まで妓館に行つたことがない、素人なんだ！」

「誰だつて來ていいのよ、それを行かないなんて本當に書生つぽうね！」

「ぢやあ明日の晩度樂しめるね？」

「でも」

「でも何だね？」

「苦勞してお金が損よ、そのことを知つてゐなくちや」

「この書生に世相を判らせてくれたらそれでいいのさ！」

長靑の若い顏には暫らく紅らみが上つた、笑つて出て行つた。一人の妓女の顏にも、あんな處女のやうな羞らひが現はれる、これは珍しいことに思つた、彼はこのため胸がおどり、呆然として笑つた。

天皇陛下 帝室博物館に行幸

【東京國通】天皇陛下には御大禮十周年記念日に當る十日國民の赤誠を嘉し給ふ畏き思召から昭和大典を奉祝し官民擧つて獻納した上野帝室博物館に行幸あらせられた、赤煉瓦の屋根高く廻らされた高欄東洋風に近世式を加味して完成した豪華な古美術の殿堂帝室博物館は秋深き上野の森を背景にして陽を浴び、ひときはの美觀を呈し輝かしい行幸を奉迎するかのやうであつたこの日天皇陛下には御軍裝御凛々しく大勳位副章を御佩用百武侍從長御陪乘、松平宮相宇佐美武官長、野口行幸主務官以下を從へさせられ略式自動車鹵簿にて午前九時四十五分宮城御出門、諸員奉迎裡に同十時博物館御車寄に着御、階上便殿にて杉總長、細川翼贊會副會長以下に拜謁仰せつけられ、それより杉總長御先導申し上げ陛下考古室より更に階上にと石器時代、古墳時代、平安朝時代から江戸時代に至る御物國寶重要美術品等千八百點を御熱心に天覽あらせられたが、往古すでに大陸との文化の交渉をなしたる遺物、石器時代の勾玉、宋時代の湖洲六花鏡その他漢六朝から唐、宋、元、明等支那各時代の文物が三千年の光輝あるわが文化の精粹とゝもに陳列されてをり、東亞永遠の和平克服を御祈念あらせ給ふ陛下には有史以來東亞一如の文化には御感御深げに拜せられた、また護良親王の五襲の御衣や蒙古襲來繪卷等國寶の數々には特に御眼をとゞめさせられ同十一時廿分頃便殿に入御、同卅分御發天機御麗はしく宮城に還幸あらせられた、なほ博物館では多年調査研究完成した日本美術略史並びに帝室博物館略史及び記念品雪舟筆の山水圖複製一幅を獻上した

近頃夜の盛り場に與太者橫行頻り

さんざんタカつて洋服失敬 こんなのもゐる!

最近深夜の街を醉つぱらつて遊客に喧嘩を吹きかけたりたかつたりする與太者がめつきり數を增して橫行するとのことに各署では銳意夜の盛り場の取締りを行つてゐるがその一つである新京千一夜物語―十日午前一時頃中央通署財前刑事が永春路光明映畫館前を密行中聲高に爭つてゐる寢衣とオーバー着の二人の男が居るので、事情を聞くと寢衣の方が私の洋服をこの男が盜んだと言ひ、オーバーを着て肥えた男は盜まぬと言張るので調べた所、何とオーバーの下にちやんと洋服をたゝんでさし込んであり、その爲一見肥えた身體付きに見えたのでこの野郎と本署へ連行して取調べた結果盜まれたのは永春路居住安永泉二と稱し九日午後十一時頃五馬路をひやかして歩く中突然この男が抱きついて來て「キスさせろ、キスさせろ」と口を持つて來るので悪い奴につかまつたと言を左右にして逃げたがしつこく後をついて來てとうとう安永氏の宅まで上りこみ、仕樣が無いので有合せの酒を飲ませて歸さうとしたが仲々歸らず果ては「五馬路の丸吉樓まで行かう」なぞと强要するので相手にならず、そのまゝ自分は寢床に入つて樣子をうかゞつてゐた所仕方無く歸る模樣にやれ安心と思つたのも束の間今度は寢る時脫いだ洋服が無いのでさては彼奴出て行く時にくすねたなと寢衣のまゝ後を追つたといふ譯、オーバーの男を嚴重に追及したら本籍茨城縣久慈郡大子町住所興運路十二湯口三次郎(三一)で思つてゐた通り夜の街を橫行するたかり常習で多數餘罪ある見込で取調中

新舊駐滿獨公使の事務引繼終る

新任駐滿獨逸公使として重大使命を双肩に滿獨外交に颯爽と登場するウイルヘルム・ワグネル博士は十日午後零時十二分延着のぞみにて、クノール前代理公使をはじめ星野長官ほか滿洲國職員多數の盛大な出迎へ受け晴れの國都入りをなし、一旦ヤマトホテルに旅裝を解き午後一時クノール前公使との間に簡單な事務引繼をなした【寫眞は事務引繼を終へて(左)ワグネル公使と(右)クノール博士】

滿鐵"コドモの家"和やかな開所式

きのふ千早俱樂部の賑ひ

天使にも譬ふべき子供の天眞爛漫たる純眞さをすくすくと伸ばし且つ冬季の保健體育を目標として全滿に魁け創設された滿鐵新京千早俱樂部內の「コドモの家」の開所式は國民精神作興詔書渙發記念日の十日をトして盛大に擧行された、天井には萬國旗はためき壁間にはこの家の標語「のばせニッポン」の大世界地圖が揭げられ色彩とりどりな十幾種の遊戲道具に埋つた如何にもコドモの家らしい會場には平島支社長、井上支社庶務課長、曾田福祉係主任を始め關係社員、來賓滿鐵新京醫院田中小兒科醫長、佐々新京保養院長、お母さん側平島支社長夫人、古山次長夫人、稻川驛長夫人を始め約五十餘名が、すつかり子供の氣持になつてニコニコと整列國旗に敬禮君が代奉唱について新京神社神職嚴肅裡に修祓を行ひ祝辭奏上次いで支社長以下各代表者玉串を捧げて式を閉ぢ玄關において記念撮影の後二階日本間において曾田主任より『コドモの家』開所に到るまでの經過を報告、平島支社長諧謔を交へ極めて碎けた一場の挨拶を述べて前途を祝福し田中博士また專門家の立場に於いて冬季間の育兒に關し種々貴重なる注意を與へ佐々博士の紹介がありお母さん側を代表して古山夫人「コドモ」のため懇ろなる感謝の辭を述べ最後に曾田主任より二三注意がありこゝに待望の『コドモの家』は多幸と光明の前途に向つてスタートした、なほこの「コドモの家」は一切無料で社員外一般市民にも午前十時から午後四時まで解放し付添のお母さん方にはミシンの備へつけあり生花の相談相手をもつとめることになつてゐる、其他收容兒童のためには隨時童話童謠、紙芝居等も催す計畫である【寫眞は華々しくスタートしたコドモの家開所式】

子供の爲に祝福 田中博士談

「コドモの家」開所にあたり滿鐵新京醫院小兒科醫長田中貢博士は『子供のため洵に喜ぶべきことです』と冒頭し左の如く語つた

獨逸などでは夙に子供のためかうした子供の家の設備がありますが日本では最近かういふ方面に相當關心を持つて來たやうですが未だ託兒所の域を出てゐません今回新京にかういふ立派な子供の家が生れたことは子供のため子を持つ親のため大きく言へば、滿洲のため大いに祝福すべきことで正に劃期的事業と云へるでせう、たゞ注意せねばならぬことはかういふ施設が出來たからとて一切をこれにゆだねて子供に無關心になつては最も危險です、冬季に於ける室內の溫度、體溫、脈膊等絕えず細心の注意を拂ふことを忘れてはなりません

滿侍從武官歸京

酷寒に向ふ折から北滿の鎭護として日夜奮戰する日滿將士並に病床に呻吟する陸海の勇士御慰問のため先に皇帝陛下より御差遣の侍從武官滿豐昌上校、隨行官葛衡溥中尉は慰問日程を終へ、十日午後一時十分新京驛着あじあで哈爾濱より歸京した

御遺骨着京

弔旗を掲げませう

北滿討匪行の華と散つた皇軍戰歿將士遺骨六十七體は十三日午後三時十分哈爾濱方面より、十四體は同日午後七時三十分吉林方面より新京驛着、中央通より吉野町に折れて記念公會堂に安置、午後九時より御通夜に入り翌十四日午前十時安置所發、日本橋通りを驛に出て午前十時三十分發列車で南下するが、當日は市民多數の送迎及び全市各戶は日滿兩國弔旗を掲揚されたいと

映畫見に出たまゝ歸らず

祝町二丁目二一天野安雄氏方使用人本籍新潟縣中魚郡十日町村山勇(二二)は六日朝映畫を見物に行くと家を出たまゝ歸らず取調べの結果七日午前四時より八日午後一時まで日本橋通八〇萬屋旅館に前記天野安雄氏の弟と稱し宿泊してゐたこと判明、その後の足取り不明で最近强烈な神經衰弱氣味であつたもので、或は精神に異狀を來してゐるやも知れずと中央通署で所在搜査中

藤川氏挨拶來社

日本での公演を了へ八日夜歸京した藤川研一氏ら大同劇團の一行は九日午後挨拶に來社した

建國記念日掲揚のポスター募集

協和會主催て一般、學生から

協和會中央本部では康德六年三月一日の第七周年建國記念日に掲出する「ポスター」につき建國の喜び及び意義を平易に表現せるものを一般、學生から求めることゝなつた、要領は左の如しである

▽一般作品募集規程 體裁 四六判裁(一尺八寸―二尺六寸)色數 五度刷を限度とす(金銀を使用せるものは採らず)應募資格 滿洲國及關東州內に居住する者、締切 康德六年一月十日迄の日附あるもの、審査 協和會及弘報關係各機關、發表 康德六年一月二十五日、賞金 一等二百圓(一名)二等百圓、三等五十圓(五名)佳作二十圓(各一名)注意 應募原稿は一切返却せず、宛先 新京大同大街滿洲帝國協和會中央本部宛懸賞ポスター係(一般)と朱書のこと

▽學生作品募集規程 體裁 四六、四裁(六寸―一尺三寸)樣式及色數 水彩、油繪、クレイヨン、パステル等自由色數に制限なし、但し金銀色使用のものは採用せず、應募資格 滿洲國及關東州に居住する小學校以上專門學校學生生徒にして中等學校以上を甲部とし以下乙部とす、締切 康德六年一月十日迄の日附あるもの、審査 協和會及關係各機關弘報關係者、發表 康德六年一月二十五日 賞品 一等五十圓、二等三十圓、三等二十圓、各一名佳作五圓、二十名以上夫々の金額に相當するもの、宛先 新京大同大街滿洲帝國協和會中央本部弘報科懸賞ポスター係(學生何部)と朱書のこと、注意 應募作品は所管學校長の證明を要す 尚應募作品は返却せず

土產品座談會

觀光協會並に土產物商組合共同主催の新京土產品研究座談會は十日午後二時より記念公會堂に於て開催長谷川協會理事、森本(寶山)依田(ビューロー)眞殿(公會堂)境村(滿洲事情案內所)五味(旅館組合長)關口(交通會社)村野(新京驛)江戶屋、峰長春堂、峰下(出產品陳列所賣店)廣瀨(岩間寶石商會)德永(寶石堂)泰發合外三滿人商等出席、細川觀光協會主事の開會の辭、廣瀨土產商組合長の開催の挨拶あつて座談會に入り種々意見の交換を行ひ新京土產の改良創案に歩調を合せて盡力すること、改良發展策として名物展覽會、全滿土產品展覽會等を開催、積極的に活動することを申し合せ四時半散會した、なほ座談の內容は新京商業速記部箕敏郎君の速記錄に依り近日本紙に掲載する【寫眞は座談會】

乾寫眞機店で寫眞展覽會

先に吉林光陽社主催、吉林新聞社および本社後援で募集した吉林縣賞寫眞は左の成績を得て十二日と十三日、新京吉野町一丁目乾寫眞機店で展覽會を開催する

新京の部推薦『群集』八木章雄

特選一席 初冬の朝 永尾正

同 二席 無題 南部珍夫

準特一席 銀波を蹴つて 藤本一三

同 二席 娟 吳保會

同 三席 夏の午後 久保一男

入選 渡し場 永尾正、露 上野文明、村の小景 秋山一郎、逆光 藤本一三、祭の日 山村育稔、日の出 藤本一三、擬視 同人、鉢 三吉有一、牧場の午後 上野文明、栗 藤原祐治、秋の感覺 永尾正、習作 伊藤政一、悲曲 藤原祐治、睡蓮 永尾正、靜物 上野文明

和田傳氏來京

第一回新潮賞受賞「沃土」の作家和田傳氏は北滿移民地の實情視察の途十日午前十一時四十二分新京驛着のぞみで來京した、兩三日國都に滯在し滿拓、產業部等關係各方面を歷訪の上移民地視察に赴くが同氏は語る

一度是非滿洲の移民地を視察したいと思つてゐました所七日東京で開催された農民文學者の集りである農民文學懇談會の席上有馬農相からも是非見て來るやうとのお勸めもありましたので會終了後急に渡滿したわけです、主として入植後日が淺い第六次、第七次移民地を視察するつもりですが出來れば國境方面へも行つて見たいと思ひます、內地農民大衆の大陸に對する認識は今事變を契機として昨年末頃から急に昂まつてきたやうです、新しい農民の生き方と協和精神を國是とする移民地の渾然とした融和を體驗して內容のある小說を書きたいと思ひます

司法、特務關係 首警異動發令

特務陣本廳中心へ

かねて缺員中であつた首都警察廳の檢閱、特高、防犯、鑑識、企畫等各股長級の補充に伴ふ人事異動は左の如く十日附を以て發令された、これ等幹部級の椅子が長く缺員のまゝ殘されてゐたことは同廳不拔の方針として堅持して來た第一線充實主義に主力を注ぎこれによつて來る本廳の人事の不便不自由は忍ぶだけ忍ばんとする意圖によつたものであると共に反面文官令の施行に伴ふ身分の變動並に各省に於ける人事交流の一段落を待つて決定の豫定であつたからである、然し時局益す重大の折柄、特務、司法兩科の充實は急眉の問題でありその重要性に鑑みこれが充實一段と强化を圖る見地に基いて發令された、隨つて今回の異動は特務、司法兩科に重點を置いてゐるが、殊に特務關係に於て中央通署の特務係の人容を減じて縮小これを本廳特務科に配して本廳特務科の擴充に努め而して特務陣の本廳中心主義を表明したことは注目されるところである

警佐 行友千代一(四道街署)
特務科勤務を命ず
補檢閱股長
警佐 金子善太郎(中央通署)
特務科勤務を命ず
補特高股長
警佐 山本愛治(四道街署)
補四道街警察署警務主任
警佐 岡本秀雄(中央通署)
補中央通警察署警務主任
警佐 小谷幸次(中央通署)
補中央通警察署司法主任
技士 玄番軍次(司法科)
兼任警佐
補鑑識股長

警佐 劉學海(保安科)
司法科勤務を命ず
補防犯股長
警尉 飯村壽右衛門(順天署)
中央通警察署勤務を命ず
補特務主任
警尉 長岡常太郎(司法科)
兼任技士
警尉 瀧澤清次(中央通署)
順天警察署勤務を命ず
補特務主任
警尉 田中清一(外事科)
寬城子警察署勤務を命ず
補特務主任
警尉 北島善太郎(警務科)
中央通警察署勤務を命ず
警尉補 前田勇吉(寬城子署)
外事科勤務を命ず

警尉補 村上爲惠(特務科)
中央通警察署勤務を命ず
警尉補 阿部長六(中央通署)
特務科勤務を命ず
警尉補 加藤義夫(中央通署)
特務科勤務を命ず
警尉補 小坂兵一郎(寬城子署)
特務科勤務を命ず
警長 御手洗孫七(中央通署)
外事科勤務を命ず
警長 飯島倉三(中央通署)
特務科勤務を命ず
警長 山本三男(四道街署)
寬城子警察署勤務を命ず
警尉補 金炳瑞(中央通署)
寬城子警察署勤務を命ず
康德五年十一月十日附

ゴーシップ

關東局の大津總長、水の豐富な新京にゐて大連の水飢饉を懸念し乍ら、頻りに掌中に小石を玩んでゐるので、訪問者の某に「總長その小石は雨乞ひのマジナイですか」と問はれて「いや、これは斧石だよ、安東省の山奥で發見された二千數百年前のものだ、この斧石を握つて數千年前の滿洲の事を考へるのもまた面白いよ」と▲かつて民政部總務司長及び關東州長官時代には眼の廻るやうに忙しかつた大津さんも最近では餘裕綽々として何となく頼もしさをみせてゐる

天氣

けふの天氣 西の風晴時々曇
きのふ 小雪模樣
氣溫 最高零下一度七 最低零下八度九